改訂：2014/1/23　PM13:25

Web Fairy Paradise

第67号

今月のフェアリー詰将棋
- 第 58 回 WFP フェアリー作品展（再掲）
- （57-12 再出題含む）
- 第 59 回 WFP フェアリー作品展
- 第 74 回推理将棋出題
- Fairy of the Forest #38
- 伝統ルールを改変する（橘圭伍）再掲
- 王手をかけると1手詰（一乗谷酔象）延長

結果発表
- 2014 年　年賀詰作品展
- 強欲な世界（たくぼん）

読み物
- 2014 年年賀詰紹介

2014/1

はじめに

お正月

新年あけましておめでとうございます。今年もWFP をよろしくお願いいたします。少しでも明るくという事で表紙もピンク系に変えてみました。まあイラスト変えてるだけですが･･･。

今年の年末年始は1週間まるまる休めるという日程で久しぶりにゆっくりさせていただきました。その間溜まっている雑務をこなしはしましたが大掃除もちょーえりと2人で頑張り、家の中が少しだけきれいになりました。娘あんなも帰郷しましたが、夜遅くまで遊びまわり、次の日昼まで寝てたりして家の中であまり会わないという状況。まあ元気でしたので良しとしましょう。

今年は広島に住む父が正月こっちへ来るということで、2日に日帰りで迎えに行き、4日に帰る強行軍。はやり自宅が落ち着くようです。1週間のうち2日広島を往復というハードな日程でした。

写真は広島のコンビニで見かけたジョージアのコーヒー缶中国地方限定バージョン「ぶち」。広島弁で「とっても」という意味です。私もたまに使っていますが、最近の人は使っているのでしょうかねえ？他の地方のバージョンもあるのかもちょっと気になる一品です。

先月12月号で開催された「王手をかけると1手詰」(一乗谷酔象)は解答者0の為、解答期間延長となりました。考えていると結構楽しくなかなか面白いと思います。皆さん是非チャレンジ頂ければと思います。

何はともあれ今年も楽しいフェアリーの世界をお届けしたいと思っておりますので投稿、解答よろしくご協力お願いします。

【募集】

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことでも研究物でも４コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト１０、自己紹介、何でもOK です。

感想

第６７号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々の HP アドレス

*ご協力感謝します

妖精都市

http://www.geocities.jp/cavesfairy/

詰将棋メモ

http://toybox.tea-nifty.com/

詰将棋おもちゃ箱

http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/

Onsite Fairy Mate

http://www.abz.jp/~k7ro/

K.Komine's Home Page

http://19900504.web.fc2.com/index.html

第57回WFP作品展57-12及び 第58回WFP作品展(再掲)及び 第59回WFP作品展

担当：神無七郎

あけましておめでとうございます

新年あけましておめでとうございます。筆者は昨年後半からいろいろあって、正月らしい正月を送れませんでした。「おもちゃ箱」に展示されている年賀詰もほとんど解いていません。今年もしばらくこんな状態が続きそうです。

こんなときは、山や川、あるいは雲を眺めてぼんやりするのが一番です。冬は様々な鳥がやってくる季節。どれも冬毛に着替え、見た目もきれいです。上の写真は近くの川で撮った鴨の団体さんの写真ですが、こうした風景が見られるのも、冬の楽しみの一つです。

さて、今年最初の WFP 作品展は 57-12 及び第 58 回分の再掲と、新規出題となる第 59 回分です。第 59 回の出題は全部で９題。出題数が一桁にとどまるのは久しぶりですが、WFP 作品展では初めてとなるルールや、詰将棋では見たことのない駒なども登場し、解図の大変さは普段以上だと思います。お屠蘇気分を吹き飛ばす意味でも、ハードなフェアリーで頭に喝を入れましょう。

〔第 57 回作品展 57-12 への補足説明〕

57-12 は一乗谷酔象氏の長編推理将棋。

「連続王手」で「連続駒取り」からの「連続駒打ち」という派手な手順が主題です。同じ主題で **57-11** は 16 回連続でしたが、**57-12** はその上を行く 17 回連続という驚くべき回数です。皆さんも作者と共に、「連続王手で連続駒取り」の限界に挑んでください。

〔第 58 回作品展各題への補足説明〕（再掲）

第 58 回の出題は全 11 題。半期末で解答締切が通常より長めですので、その時間を有効に活用して解答をお寄せください。今回も色とりどりの作品が並んでいます。**58-5**、**58-8**、**58-10** には受方持駒制限があるのでご注意ください。

58-1、**58-2** は上谷直希氏による複合マドラシ作品。第 57 回に続いての登場なので、解答者の皆さんも少し慣れてきた…わけないですよね。手数は短いですが、結構手ごわいと思います。

58-3 も上谷直希氏の作品ですが、詰めるのは普通の玉ではなく、クイーンの性能を持った玉です。特筆すべきは「打歩詰可」のルール設定。打歩詰のルールは「なぜ打歩で詰めたらだめなの？理不尽だ！」と最初は誰しもが感じると思うのですが、ここはフェアリーの世界です。打歩で詰めても良い詰将棋をどんどん作ってどんどん発表しましょう。

58-4 は「安北２」という初めて登場するルール。作者は新しいルールに意欲的に挑戦している変寝夢氏です。「安北」が１つ前の枡にいる味方の駒の利きになるのに対し、「安北２」は２つ前の枡にいる味方の駒の利きになります。「安Ｘ」系のルールは行き所のない駒の定義に注意が必要ですが、「安北２」では通常の「一段目の桂香歩及び二段目の桂は禁止」となります。

なお、ルールの表記は作者の提示した「安北２」をそのまま採用しています。「安北北」としても良さそうですが、それだと「１つ前と２つ前の枡にいる味方の駒の利きの合成になる」という解釈をされそうなので、元の表記の方が良いと判断しました。

58-5 は変寝夢氏による縦シリンダー盤を使った作品。今度は縦シリンダーの上で、ナイトライダーを走らせます。ただでさえ強力なナイトライダーが縦シリンダー盤では、どうなるか。利きの確認が大変かもしれませんが、その目でお確かめください。

58-6 も変寝夢氏の作品。ＰＷＣとナイトの組み合わせです。ＰＷＣは基本的に盤上から駒が消えないルールですし、この使用駒だと駒が増えることもありません。盤上の駒をうまくやり繰りしてステイルメイトの形を作ってください。

58-7 と **58-8** は橘氏お得意のキルケ作品。**58-7** はいかにも大技が出そうな配置と持駒で、解く前から期待が膨らみますね。**58-8** は２つの解があるので、できるだけ両方の解を求めてください。たぶん一つの解は楽に見つかると思います。

58-9 と **58-10** は上田吉一氏の中編ＰＷＣ作品。上田氏らしい論理性と趣向性の融合した手順が味わえると思いますので、お見逃しなく。

58-11 は本作品展では初登場となる幻想咲花氏の「透明駒」を使った作品です。「覆面駒」は駒の種類が分からないだけでしたが、「透明駒」は「覆面駒」より過激で、位置すらも分からない状態で手を進めることになります。幸い、このルールについての詳しい説明や例題が今月の詰パラの「透明人間の逆襲」という記事にまとめられていますので、まずはこれを読んでルールを把握してください。

〔第 59 回作品展各題への補足説明〕

第 59 回の出題は９題。問題は手数順に並んでいますが難易度とは無関係です。初登場の駒や珍しいルールが多いので、以下の説明をよくお読みください。

59-1 は橘圭伍氏による Locust（蝗と表記）を使った問題です。Locust は第 48 回 WFP 作品展にも登場しているので（そのときはＬと表記）、Locust のことを知らない、あるいは忘れた方は、第 48 回の出題稿･結果稿を参照してください。本局では盤上にある２枚の蝗はいずれも玉で、92 が受方玉、18 が攻方玉です。本局は自玉詰ですから 92 蝗に王手を掛けながら 18 蝗を詰めます。更に、本局は「Ｋマドラシ」なので、この２つの玉にも石化の可能性があります。蝗の利き筋は、移動先ではなく、ジャンプ台の位置（蝗が動いたとき取られるのはジャンプ台となる駒です）であることに注意してください。

59-2 はとんでもない駒が使われています。Rose（薔と表記）という「円形ナイトライダー」です。通常のナイトライダーはナイト（騎）の利きの方向に真っ直ぐ進みますが、この駒は一つ進むごとに騎の方向に曲がり、遂には一周してしまいます。騎の方向は８つありますから、全部の利きを合成すると、確かに薔薇の花のような複雑で華麗な模様になります。

この駒に関する詳しい説明は以下のブログ記事を参照してください。

「フェアリーチェス_～チート駒紹介番外編 2 ～フェアリーチェス駒」
http://akasaka0x16.blog.fc2.com/blog-entry-38.html

作者の変寝夢氏もこの記事を見て今回の作品を創ったそうです。２解を求める作品ですので、なるべく両方の解を求めてください。持駒の「薔」以外は通常の駒種・駒数ですので、その点はお間違えなく。

59-3 も変寝夢氏の作品ですが、何だかいろいろとルールがくっついていますね。一つ一つは、これまでも WFP 作品展で出てきたルールなので、あまり警戒しないでください。また、本局の「打歩」は「単純打歩」（「打歩詰」以外の詰みを「禁手」ではなく「失敗」とする）ですので、法則問題に悩む必要もありません。

59-4 も変寝夢氏の作品ですが、本局のルールは WFP 作品展初登場となる「Andernach」です。このルールは WFP13 号で紹介されていましたが、基本的には「駒を取ると駒の向きが変わる（相手の駒になる）」という比較的分かりやすいルールです。ただ、二歩や行き所ない駒、成生の選択などについて注意が必要ですので、細則をご確認ください。

59-5 は橘圭伍氏の推理将棋ですが、作者の意向により、条件の箇条書きは行っていません。文章を読み解くのも推理将棋の楽しみのうち、ということで、読者の皆さんはご自分で条件を整理して解図に臨んでください。

59-6 は上谷直希氏のクイーンを打歩で詰めよという問題です。前回は「打歩詰可」という設定で登場していましたが、今度は打歩でないといけないので、混同しないようご注意を。

59-7 は上田吉一氏のＰＷＣ作品。手数が意外と短いので、効率の良い手順を選ばないと正解に到達できませんが、ひょっとすると、今回の出題作の中で最も易しいかもしれません。

59-8 は一乗谷酔象氏の推理将棋。テーマについて作者のコメントがありますので、それを紹介しましょう。

> *本作は、同一地点、同種駒着手最大の８連続がテーマです。3 年前に mixi コミュで話題になりました。8 連続同との最短手数探索が主題であり、強引な条件付けは不要かもしれません。当時、Norman 氏が最短手数 58 手解を発見されましたが、条件や手順は開示されてませんでした。*

もし余力があったら、本作を解くだけでなく、最短手数の更新にも挑んでください。

59-9 はどこかで見たような形ですね。そう、橘圭伍氏が「第 38 回神無一族の氾濫」で発表された作品のバリエーションです。このときは「金」と「と金」の呼び出しが主題でしたが、今回はどんな狙いでしょうか。

解答要項

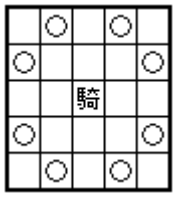
57-12 及び第 58 回分解答締切：
2014 年 2 月 15 日（土）
第 59 回分解答締切：
2014 年 3 月 15 日（土）
宛先：janacek789@ybb.ne.jp（メールの件名に「解答」の語句を入れてください。）

作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。（原則として毎月 15 日の投稿まで当月号に掲載します。）
宛先は解答と同じ janacek789@ybb.ne.jp へ。メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。ｆｍ検討済みなら.fmo 形式のファイル添付を推奨します。

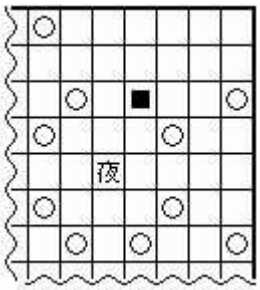
ルール説明

【推理将棋】
将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する。
【協力詰】
先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。
【安南】
味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる
【マドラシ】
同種の敵駒の利きに入ると、利きがなくなる。
【安南マドラシ】
安南とマドラシを両方適用する。利きの変化は「安南」が先、次に「マドラシ」の順。
（補足）
・安南も安南マドラシも行き所のない駒の概念はなし
【クイーン王】
玉がクイーン（飛と角を合わせた性能）の利きを持つ。
【打歩詰可】
打歩詰で詰ませても良い。
【安北２】
２枡前に味方の駒があるとその利きになる。
（補足）
・行き所のない駒の概念は通常通り
【打歩】
打歩詰以外の詰手を失敗とする。（単純打歩）
【縦シリンダー盤】
一段目と九段目の同じ筋同士が繋がった盤。
【ナイト】（騎）
ナイトはチェスの駒。八方桂。



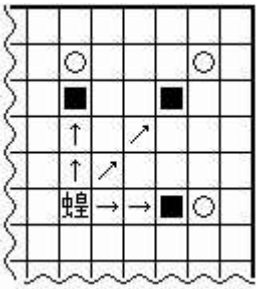
（○が騎の利き）

【ナイトライダー】
フェアリーチェスのナイトライダー（夜）。ナイトの利きの方向に連続飛びができる。



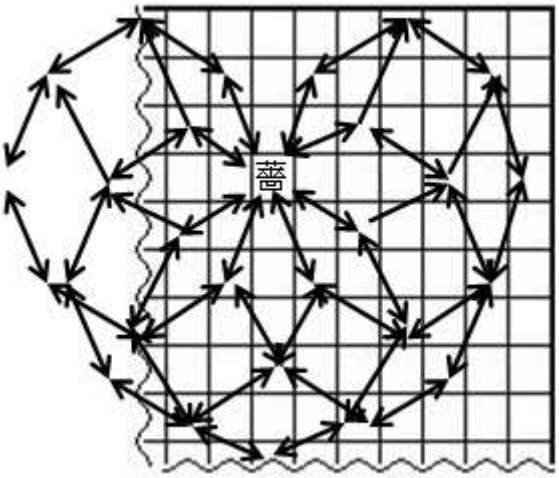
（○がナイトライダーの利き。■に駒があるとそこから先には利かない。）

【ＰＷＣ】
取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。（駒位置の交換となる）
（補足）
・位置交換をすると「行き所のない駒」や「二歩」になる場合は普通に取られて相手の持駒になる
【キルケ】
駒取りがあったとき取られた駒が、最も近い将棋での指し始め位置に戻される
【協力自玉詰】
先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。
【協力自玉ステイルメイト】
先後協力して最短手数で攻方をステイルメイト（王手は掛かっていないが合法手のない状態）にする。
【協力千日手】
先後協力して最短手数で初形に戻す。
【透明駒】
位置・種類が不明の駒。
着手の合法性、攻方王手義務を満たせる可能性があれば、それを満たしているものとして手順を進めることができる。
→詳細は詰将棋パラダイス 2013 年 11 月号の「透明人間の逆襲」を参照してください。
【Locust】
フェアリーチェスの Locust（蝗）。
クイーンの利きの方向にある敵駒を跳び越えその先の空きマスに着地し、跳び越えた敵駒を取る。



（○が蝗の利き。
■は敵駒。■が味方の駒だったり、○の地点が埋まっていると跳べない。）

【Rose】
フェアリーチェスの Rose（薔）。
円形に進むナイトライダー。途中に駒があったり盤をはみ出したりするとそこから先に行けない。



→詳細は以下のブログを参照してください。
「フェアリーチェス_～チート駒紹介
番外編 2～フェアリーチェス駒」
http://akasaka0x16.blog.fc2.com/blog-entry-38.html

【天竺】
玉の利きが、王手をした駒の利きになる。

【中立駒】（「🏚」あるいは「n 駒」）
どちらの手番でも動かせる駒。
横向きの字か横に n を付加して表記。
→詳細は WFP61 号の「中立駒の紹介」の記事を参照してください。

【Andernach】
駒取りを行った駒（玉を除く）は、その場で相手の駒となる。

（補足）
・取ると二歩になる場合相手の駒にならない
・駒の向きの転換は成生の選択の後に行われ、成生の選択権は駒を取った側にある
・駒取りの場合に限り、8 段目への桂の不成、9 段目への桂香歩の不成が可能（二歩の例外を除く）

≪第 57 回 WFP 作品展 57-12≫
解答締切：2014 年 2 月 15 日（土）

■ 57-12　一乗谷酔象氏作

推理将棋『明日があるさ』

「駒をぼろぼろ取られた後ぺたぺた打たれて 70 手で負かされたよ」
「何枚ぐらい駒を取られたの？」
「連続王手で 17 枚も取られたよ」
「そんなに駒を取られて未だ投げずに粘ったのかい？」
「そうなんだ。でも、取る駒がなくなった後、今度は 17 回続けて駒を打つ連続王手をかけられたんだ。初手の着手地点に飛車を打たれる手もあった。最後詰まされたとき一つの筋には駒が 8 枚もあった」
「残念な一局だったね。でも、駒柱詰を免れたのがせめてもの救いだ。明日があるさ」

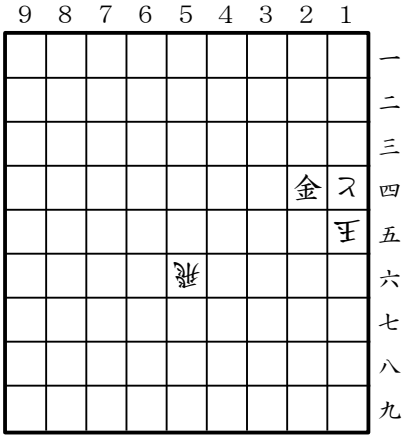
さて、どんな将棋だったのでしょうか？

<u>条件</u>
1) 70 手で詰んだ。
2) 後手は 17 回連続して駒を取りながら王手をかけた後、17 回連続して駒を打って王手をかけた。
3) 終図では一つの筋に駒が 8 枚あった。
4) 初手の着手地点に飛車を打った。

≪第 58 回 WFP 作品展≫
解答締切：2014 年 2 月 15 日（土）

■ 58-1　上谷直希氏作

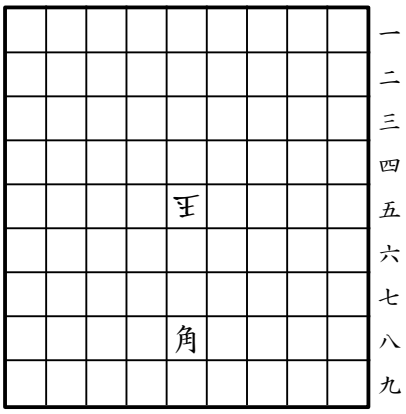
安南マドラシ協力詰 5手



持駒 飛 銀

■ 58-2　上谷直希氏作

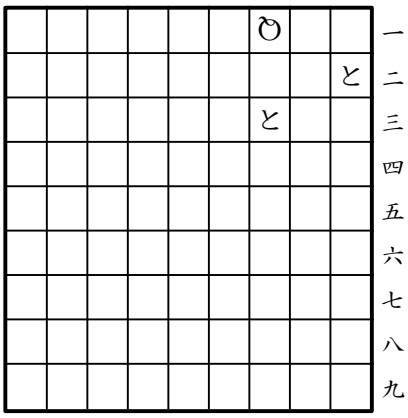
安南マドラシ協力詰 7手



持駒 金

■ 58-3　上谷直希氏作

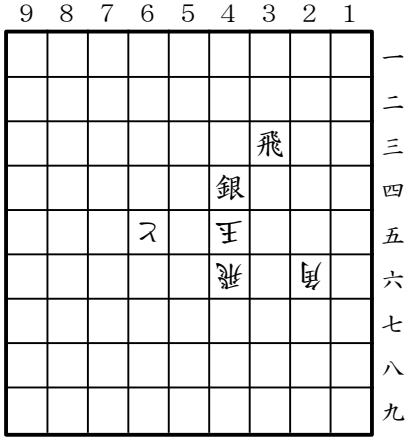
クイーン王協力詰 13手 ※打歩詰可



持駒 歩3

■ 58-4　変寝夢氏作

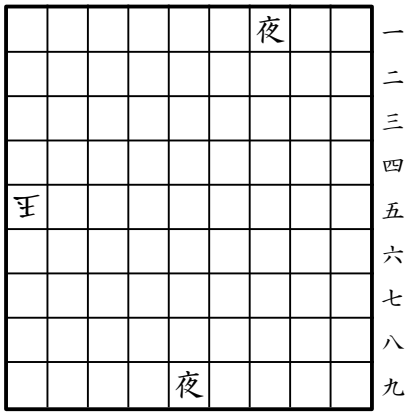
安北２打歩協力詰 5手



持駒 歩

■ 58-5　変寝夢氏作

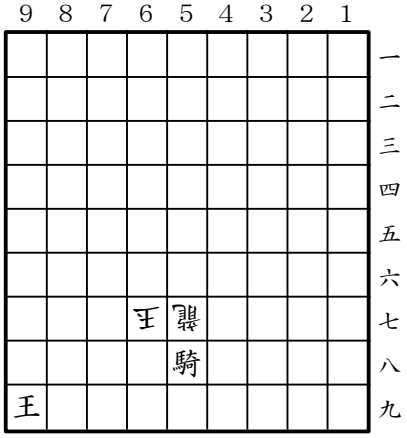
縦シリンダー盤協力詰 3手



攻方持駒なし
受方持駒なし
（※夜＝ナイトライダー）

■ 58-6　変寝夢氏作

PWC協力自玉ステイルメイト 14手



持駒 なし
（※騎＝ナイト）

■ 58-7　橘圭伍氏作

キルケ協力自玉詰 10手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王									一
龍		金					歩		二
	金								三
	桂	桂							四
									五
									六
									七
									八
	王								九

持駒 飛 香

■ 58-8　橘圭伍氏作

キルケ協力自玉ステイルメイト 16手 ※2解

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						馬		王	一
								歩	二
									三
									四
									五
									六
						王			七
							飛	玉	八
									九

攻方持駒香4
受方持駒なし

■ 58-9　上田吉一氏作

PWC協力千日手 20手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王		一
							歩	歩	二
							角		三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 香

■ 58-10　上田吉一氏作

PWC協力自玉ステイルメイト 36手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			王			角			一
									二
									三
			銀						四
			香	香	香	香			五
									六
									七
				銀	王				八
									九

攻方持駒なし
受方持駒なし

■ 58-11　幻想咲花氏作

詰将棋 11手 ※透明駒使用

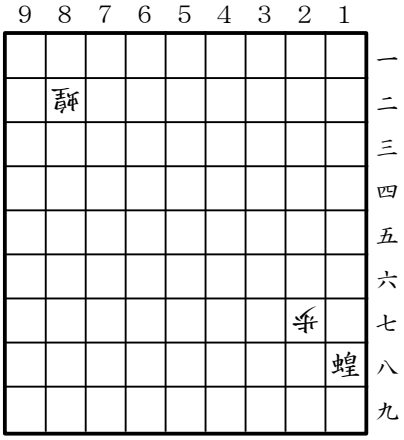
9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
			馬						二
									三
								銀	四
								王	五
				龍			桂	玉	六
				龍		銀			七
									八
									九

持駒 なし
※透明駒　攻方 1 枚、受方 0 枚

≪第 59 回 WFP 作品展≫
解答締切：2014 年 3 月 15 日（土）

■ 59-1　橘圭伍氏作

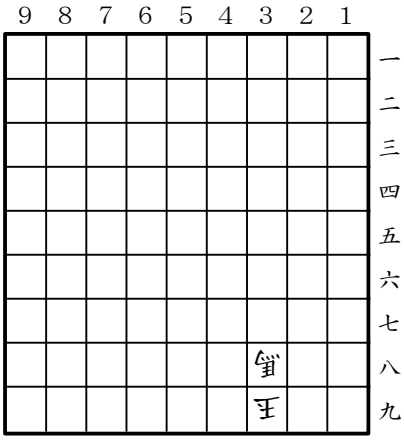
Kマドラシ協力自玉詰 4手



持駒 飛 金
（※蝗＝Locust 王）

■ 59-2　変寝夢氏作

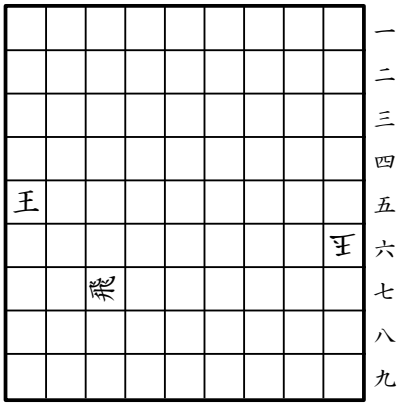
協力詰 5手 ※２解



持駒 薔
（※薔＝Rose）

■ 59-3　変寝夢氏作

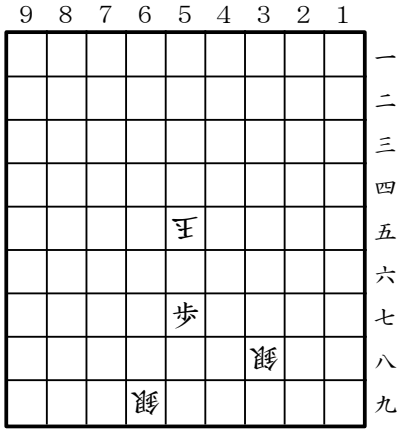
天竺PWC打歩協力自玉詰 6手



持駒 なし
（※77 飛は中立駒）

■ 59-4　変寝夢氏作

Andernach協力詰 9手



持駒 桂 香

■ 59-5　橘圭伍氏作

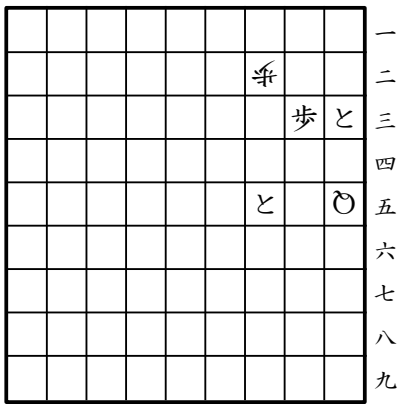
推理将棋『古壺新酒』

後手「油断していたら 9 手で詰まされたよ」
A　「一体、どんな将棋だったの？」
後手「止めが唯一の駒成りだったんだけど相手の指が震えていた。こんな詰みを見落とした僕に対する怒りだろうね」
A　「うーん、全く分からないね。
他に印象的だった手はないのかな？」
後手「相手方の 2 種類の駒の利き以外に効きがない地点に駒を打つ事が 2 回だけあったんだ」
A　「駒打ち 2 回とは珍しいね。
先手が打ったの？後手が打ったの？」
後手「それは教えられないね。
後、棋譜上、同の付く着手はなかったよ」
A　「本当に変な将棋だったんだね」

さて、どんな将棋だったのでしょうか？

■ 59-6　上谷直希氏作

打歩クイーン王協力詰 13手



持駒 歩2

■ 59-7　上田吉一氏作

PWC打歩協力詰 49手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
歩								歩	三
									四
									五
				龍					六
王									七
	香	歩							八
王									九

攻方持駒なし
受方持駒なし

■ 59-8　一乗谷酔象氏作

推理将棋『怒濤の同と』

「さっきの将棋、先手番の君が 13 手目に 24 歩と打った後、相手も 16 手目に歩を打ったね。君が 21 手目に玉を動かす処まで見ていたけど、その後どうなったの？」
「飛車の手に対する応手は必ず大駒の手だったね。29 手目に歩を打ったら後手も歩を打ってきた。そして、その 10 手後の 39 手目の歩打ちのときも更にその 10 手後の 49 手目の歩打ちのときも直後に歩を打たれて対抗されたよ」
「ということは歩打は、13,16 手目のほか、29,30 手目、39,40 手目、49,50 手目ということだね。なかなかの接戦だったみたいだけど、勝負はどうなったの？」
「驚いたことに『同と』の手がずっと連続して 8 回目の『同と』で負けちゃった」
「え？どういうこと？」
「細かく言うと 51 手目から『同と引 同と引、同と寄 同と寄、同と左 同と左、同と 同と』迄 58 手で詰まされちゃったんだよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

条件：
1) 51 手目から「同と引、同と引、同と寄、同と寄、同と左、同と左、同と、同と 迄」58 手で詰んだ。
2) 歩を打つ手が 8 回。13 手目の 24 歩打のほかは、16,29,30,39,40,49,50 手目。
3) 飛車の手に対する応手は必ず大駒の手。
4) 21 手目は玉の手。

■ 59-9　橘圭伍氏作

キルケ協力詰 133手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
銀			馬						一
金	王	銀	王			歩			二
金				歩					三
歩	銀	金		歩					四
			歩						五
							歩		六
	銀								七
									八
								歩	九

攻方持駒なし
受方持駒歩

以上

推理将棋第７４回出題

担当：DD++

将棋についての話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第７３回出題です。はじめての方は　どんな将棋だったの？ -推理将棋入門　をごらんください。

解答、感想はメールで２０１４年２月２０日までに TETSU まで
（omochabako@nifty.com）　メールの題名は「推理将棋第７４回解答」でお願いします。解答者全員の中から抽選で２名に賞品リストからどれでも一つご希望のものをプレゼント！１題でも解けたらぜひご解答ください。

推理将棋第７４回出題（年賀詰２ヶ月出題）
担当　DD++

あけましておめでとうございます（フライング）。告知していたとおり、今回は募集していた年賀詰の特集です。チャンプさん、渡辺秀行さん、はなさかしろうさん、斧間徳子さん、ＮＡＯさん、そして当コーナー初登場の諏訪冬葉さん、となんと６名もの方から投稿いただきました。しかも全員 11 手を作ったのに手順が見事にバラバラ。

とはいえテーマが共通なため、あれを解く過程があちらのヒントになったり、そっちを解くつもりがこっちの手がかりが見つかったり、ということがあちこちで発生します。これを２分割するのは特集として味消しだろう、ということで今回は中級６題一気にどかんと出題です。２ヶ月出題だといってもさすがに多すぎる気もしないでもないですが……。順番は難易度順ではなく単純に投稿順ですので、練習問題の後は興味を引かれたものから挑戦してください。くれぐれも類似条件の取り違えは起こしませんよう。

年末年始の本コーナー予定
第 73 回：(11 月下旬出題、12 月 20 日締め切り)、１月中に結果掲載
第 74 回：12 月下旬出題、２月 20 日締め切り、２月末以降に結果掲載（年賀詰２ヶ月出題）
第 75 回：２月下旬出題、以後平常出題

■練習問題

「さっきの将棋、▲76 歩△34 歩▲22 角成△62 金▲33 角△52 玉まで見てたけどどうなった？」
「９手で詰んだよ、って言えば残りの３手は分かるよね」

さて、残りの３手はどんな手だったでしょうか。

■本出題

７４-１　中級　チャンプさん作
今年の運勢は？　　11 手
条件から詰み形をさっさと決めてしまいましょう。

７４-２　中級　渡辺秀行さん作
馬遊び　　11 手
盤面は大きく使って。

７４-３　中級　はなさかしろうさん作
2611 馬　　11 手
同じ筋に指さないように馬で攻める方法をあれこれ考えましょう。

７４-４　中級　斧間徳子さん作
うま年の指し初め局　11 手
２枚の角はそれぞれ何手目に何をする？

７４-５　中級　ＮＡＯさん作
26 には勝負手を放つ　11 手
馬を捨てるためにはまず攻め駒確保から。

７４-６　中級　諏訪冬葉さん作
26 年の将棋　　11 手
さて最後の玉位置は何筋？

■お年玉ヒント
あけましておめでとうございます。お年玉というには遅いですが、中間ヒントを。もう１回ヒントがあることを考えて緩めのヒントです。

74-1（チャンプさん作）：駒柱はもちろん２筋。24 と 25 には何があるのが理想的でしょうか。
74-2（渡辺秀行さん作）：駒打ちができない先手が攻め駒を足す手段をまず考えましょう。１筋を考えるのは後回し。
74-3（はなさかしろうさん作）：先手の着手筋を重複させないためには馬を１筋２筋にも有効に指したいですね。

74-4（斧間徳子さん作）：74-2 とは異なり駒打ちで攻め駒が足せる、となると金銀あたりがほしいところ。
74-5（ＮＡＯさん作）：馬を捨てるとなると駒打ちを頑張る必要がありそうですね。さて 26 へ打って有効そうな駒は。
74-6（諏訪冬葉さん作）：馬は取られますし、桂跳ねも実はフェイク。では何で詰ませましょう。

７４-１　中級　チャンプさん作
今年の運勢は？　11 手

「元旦に指した将棋どうだったの？」
「11 手で詰まして勝ったよ。」
「元旦に 11 で勝つとは洒落てるね。他には？」
「26 馬という手があったかな。」
「26 年午年に 26 馬とは縁起がいいね。他には？」
「初王手で駒柱が完成したよ。」
「えっ？新年早々駒柱って・・・。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

（条件）
・11 手で詰んだ
・26 馬という手があった
・初王手で駒柱が完成した

７４-２　中級　渡辺秀行さん作
馬遊び　11 手

「１月１日から 11 手で相手を詰めるのは縁起がいいね」
「お互い馬で遊び合って合計５回も馬移動があったよ」
「その中には１筋の着手もあったらしいね」
「そうだよ、歩以外の駒が取られることはなかったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

（条件）
・11 手で詰んだ
・馬を移動する着手は１筋の着手を含め５回
・歩以外の駒が取られることはなかった

７４-３　中級　はなさかしろうさん作
2611 馬　11 手

「謹賀新年、あけましておめでとう。指し初めしてきたよ」
「賀正賀正、おめでとうさん。今年も熱心だね。で、どんな将棋だったの？」
「元日らしく、11 手で詰んだよ。それから、先手の着手は全て異なる筋だったな」
「なるほど、指し初めにふさわしい一局というわけだね。それから？」
「金の手は２回全てが一段目だったよ。それから、大駒の手は６回全てが盤上の手だった」
「ふむ。つまり、大駒を打つ手はなかったってことだね。　でも、それだけでは手順がわからないし、今年にちなんだ一局という気もしないけど」
「えっ？　今年は平成 26 年だから、２と６を織り込んでみたんだけどなぁ。　それならとっておき、馬の手で締め括ったんだけど、これでどうかな？」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

（条件）
・11 手で詰んだ
・先手の着手は全て異なる筋
・金の手は２回全てが一段目
・大駒の手は６回全てが盤上の手
・最終手は馬

７４-４　中級　斧間徳子さん作
うま年の指し初め局　11 手

「昨日の指し初めの一局、あっという間に君が勝ったんだね」
「うん、11 手目の初王手で相手玉を詰ましたよ」
「投了した局面を見たけど、相手の駒台には何もなく、君の駒台には角と歩が１枚ずつあったね」
「うん、完勝だったよ」
「どんな将棋だったの？」
「うま年だからって訳じゃないけど、馬の手が５回もあったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

（条件）
・11 手目の初王手で後手玉が詰んだ
・馬の手が５回あった
・終局時の持駒は、先手が角と歩が１枚づつで、後手はなし

７４-５　中級　ＮＡＯさん作
26 には勝負手を放つ　11 手

「今年の指し初めの一局はどうだった。馬の手が１回だけあったそうだけど」
「そうなんだ。玉が動いたから馬で王手をかけたんだけど、馬は玉に取られちゃった。でも、最後は 11 の手で 11 手で詰ませて勝ったよ」
「どんな手を使ったんだい？」
「好手を発見して、26 地点に勝負手を放ったんだ。それが勝因だよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？そして 26 年、貴方の勝負手は？

（条件）
・11 手目に 11 の手で詰んだ
・26 の手あり
・馬の手は１回だけで、玉の手に対し王手をかける手だった
・馬は玉で取られた

７４-６　中級　諏訪冬葉さん作
26 年の将棋　11 手

「今年の年明けにふさわしい将棋を指してきた」
「どんなの？」
「11 手で勝ったんだけど後手玉が５段目まで上がってきたんだ。初日の出みたいだろ」
「それはちょっと無理がないか？」
「こっちは馬を作る手と桂馬の手を続けて指したんだ。午年らしいだろ」
「まあそれはわかる」
「あとは 2014 年で平成 26 年だから最初の２手は 26 と 14 の手だった」
「・・・最初の初日の出はいらなかったんじゃないか？」

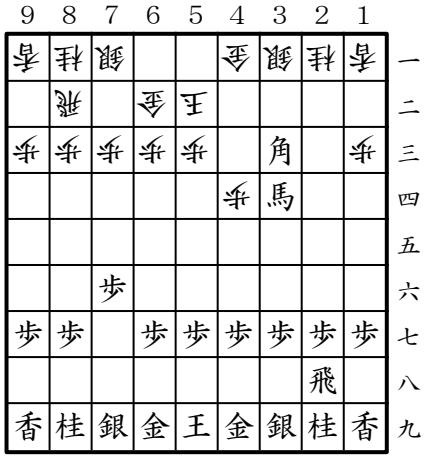
さて、どんな将棋だったのだろうか？

（条件）
・11 手で詰んだ
・最初の２手は▲26 歩△14 歩
・先手は馬を作る手の次に桂馬の手を指した
・後手玉は５段目まで動いた

■練習問題解答

問題以下、▲23 馬△44 歩▲34 馬まで。

推理将棋 74 練習問題詰上り図



持駒 歩2

意外と難しかったのではないでしょうか。この詰み形は、離した王手だけれども合駒できる駒がないから詰み、いわゆる合い効かずという形の１つ。これに馬の行動の手広さが加わると、本問のように予想外のところから詰みが生じる場合が多々あります。今回のような筋違い角を平行に２枚使うパターンの他、前回の練習問題のように斜めに十字を作る形も、そしてもちろん補助の駒に角以外を使うようなパターンも、さらには馬一枚だけで詰ませるような究極形も。

今回の出題もどうやらいくつかこれらの応用の形のものがあるようです。なお、普通の詰将棋では合駒しても取られるだけで無意味なものを無駄合で無効としますが、推理将棋では結果的に無駄だろうがなんだろうが合駒で手数を伸ばせるなら有効な応手ですのでご注意ください。

Fairy of the Forest #38出題

■　2013 年 11 月 20 日：課題発表：（協力詰）
　　攻方王または受方同一駒（玉を除く）
　　の複数回移動（途中成っても可）
■　2014 年 01 月 15 日：投稿締切
■　2014 年 01 月 20 日：出題
□　2014 年 02 月 15 日：解答締切
□　2014 年 02 月 20 日：結果発表

■　出題

　３題と少ないですが、長編２題が含まれており、解きごたえはありそう。ぜひチャレンジしていただきたいと思います。
　03 は攻方持駒（の数）にご注意ください。歩が非標準駒数になっています。
　見逃したら損しますよ、と言っておこう。

（解答先）
→酒井博久（sakai8kyuu@hotmail.com）

■38-01　たくぼん　協力詰 7 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				歩					三
									四
			桂	歩	歩				五
	龍	龍		玉			馬		六
					歩	歩			七
			歩						八
						角			九

持駒 金3香

■38-02　神無七朗　協力詰 97 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					香				一
					角				二
				銀	王	角	飛		三
銀									四
歩	銀					桂			五
香	玉	香							六
桂		桂	銀						七
金		香							八
龍		王							九

持駒 歩16

■38-03　小林看空　協力詰 111 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		飛	飛						一
									二
	金	角	角	金					三
	銀	王		桂					四
銀					銀				五
	香	金	金	香	桂	香	桂		六
					玉	桂			七
							銀		八
						香			九

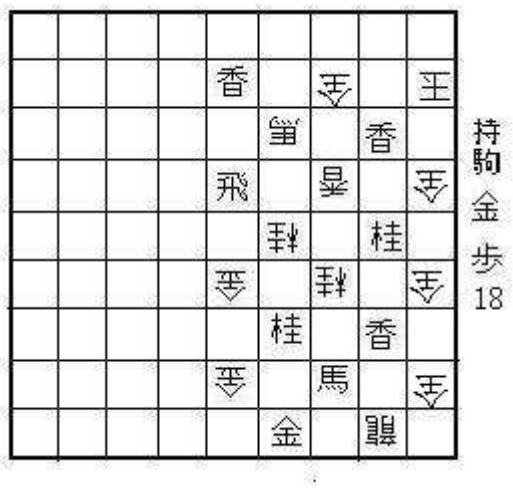
持駒 歩22

伝統ルールを改変する　橘圭伍（再掲）

0. 御挨拶

今年も最終月になりました。早いですが良い御年を。そして、明けましておめでとうございます。残りの 10 日程度及び来年も自作を宜しくお願いします。 最初に伝統ルールでの年賀詰を置いておきます。

・　伝統ルール　69 手



1. 序

現行の伝統ルール＋フェアリー系統のルールと組み合わせた場合、多くの不都合が生じると考えられます。これは、伝統ルールが比較的曖昧にルール設定させているからです。今回は、WFP で紙面を頂いて改変案を提示させて頂きます。なお、これは現在主流の伝統ルールを否定するものではありません。フェアリールールのかしこ詰系統との組み合わせを行う為のルール設定となります。

本ルール設定にあたって上田吉一氏・神無七郎氏に協力して頂きました。感謝します。

2. 伝統ルール現代版　橘案

①　攻方最短・受方最長

②　無駄合概念なし

③　手順は完全限定

④　良識の範囲で、記載をする事によって変化同手数・成生の非限定を認める

用語

変化：作意手順中、玉方の逃げ方の選択によって作意手順以下で詰むもの

紛れ：作意以外の手順だが詰まないもの、または作意より長い手順で詰むもの

余詰：作意手順ではない手順で、作意手数以下で詰むもの

3. 概要補足説明

①に関して

良く詰将棋のルールで書かれている物であるが既に形骸化しています。今回は、この攻方最短・受方最長が根本となるルールでこれに矛盾がないように設定をしています。

②に関して

受方最長なので当然ですが無駄合という概念はありません。よって、合駒がある限り透かし詰は本ルールでは不詰となります。

③④に関して

神無七郎氏に原案を見せた所、不要な部分は一切除外で良いのではと言われました。

が、今回の案では④によって、ある程度既存の作品も救えるようにしました。

④の成・生に関してですが、今回の案では成っても成らなくてもどちらでも良い場合は必ず成りを選択するとしたいと思っています。

上田氏と話した所、1970 年位まではこのような局面は成る手を選択するのが暗黙の了解だったという話をされたので本ルールでは、これを尊重したいと思います。

また、良識の範囲という、何とも曖昧な表現を用いました。④はあくまでも救済措置であるのでないに越した事はありません。

4.　用語補足説明

紛れ及び余詰は説明不要と思います。

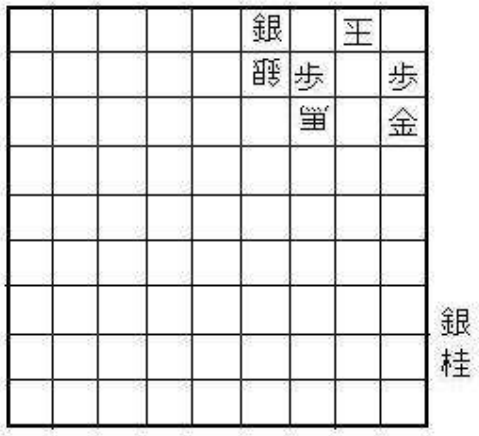
本ルールでは、作意より長く詰む手順は余詰ではありません。協力系統のルールと同様になっています。

①ですが、所謂変化同手数という物は許容しています。これは主題が終わったどうでもいい部分で限定する為に苦労するのは時間の無駄という事です。悪用？？は当然ですが禁止ですが其処は創作者の考え方次第でしょう。

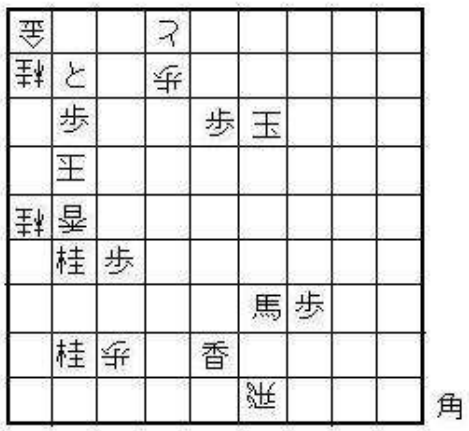
5.　作品は作れるのか？

見た目以上に厳しいルールですが、そもそも作品を作る事が出来るのでしょうか？そして、フェアリールールと伝統ルールを組み合わせる事で一体どのような事が出来るのでしょうか？自作 2 題とフェアリーと組み合わせである上田氏作を1題出題したいと思います。

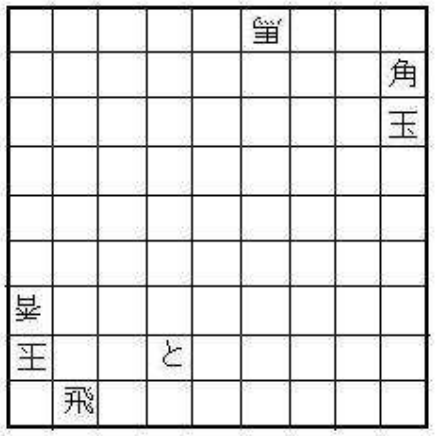
［第 1 番］橘　圭伍氏作　7手詰



［第 2 番］橘　圭伍氏作　15手詰
14 手目から変同あり



［第 3 番］上田氏作　57手詰　　Circe



持駒　双方なし

［解答先］
keigotatibana@hotmail.com

［解答締切］　2 月 15 日

王手をかけると１手詰　（解答延長）

担当：一乗谷酔象

できるだけ王手の種類が多くなるように１手詰の盤面を推理する将棋パズルです。推理将棋の会話形式で出題します。

協力詰、推理将棋の慣例とおり、無駄合い有効。合駒があれば１手詰ではありません。また、打歩詰は禁止です。

一乗谷酔象

第１問『１０９通りの王手』

博士「王手の種類の多い1手詰を考えてみよう。何通りぐらいできる？」
助手「50通りぐらいですか？」
博士「いや、もっと多いよ。よく考えてごらん。」
助手「あっ、そうか。80通りは楽に越えそうですね。頑張れば90通りも越えるかも」
博士「100通りを越せないかな？ちょっと考えてみなさい」
助手「はい。がんばります。博士」
後日・・・
助手「博士。できました」
博士「そうか、100通りができたか」
助手「いいえ。109通りです」
博士「ほんとか。それはすごい。持駒には何枚使ったの」
助手「持駒は３種類で６枚だけです」
博士「ちょっとそれを将棋盤に並べてくれないか」
助手「それでは。・・・っと」
助手が並べはじめ盤面に、と金を１２枚おいたところ【図１】で・・・
博士「ひょっとして成駒はと金だけかな」
助手「はい、そのとおりです」
博士「なるほど、わかったよ。手番が先手番でも後手番でも王手をかけると
必ず１手詰になるね。　よくやったな。王手種類が109通りの1手詰の完成だ。おめでとう」
助手「ありがとうございます」
さて、王手種類109通りの1手詰とはどのような駒配置でしょうか？
二人の会話を元に推理してください。

【図１】

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
ス								と	一
ス								と	二
ス								と	三
ス								と	四
ス								と	五
ス								と	六
									七
									八
									九

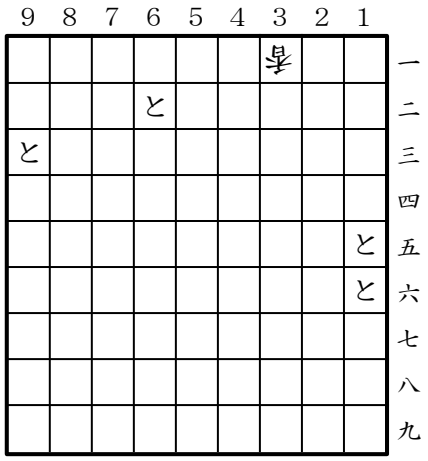
先手持駒
後手持駒　（先後合わせて３種６枚）

【出題条件の整理】
以下の全ての条件を満たすような、盤面(駒配置)と持駒(先後とも)を推理してください。
(1) 手番が先手番の場合、王手をかけると必ず１手詰
(2) 手番が後手番の場合、王手をかけると必ず１手詰
(3) 王手の種類は、上記1)と2)を合わせて109通り
(4) 持駒は、駒の種類が3種類で先後合わせて6枚
(5) 11,12,13,14,15,16には先手のと金があり、91,92,93,94,95,96には後手のと金がある。
(6) 成駒は、'と金'だけ
※持駒6枚と指定の'と金'12枚以外の残りの22枚は盤面に配置すること。

第２問『王手１１０越え』

助手「博士。王手の種類が増えました」
博士「そうか、110通りができたか」
助手「いいえ。110を越えました」
博士「ほんとか。それはすごい。ちょっとそれを将棋盤に並べてくれないか」
助手「それでは。・・・っと」
助手が並べはじめ盤面に、５枚おいたところ【図２】で・・・
博士「ひょっとして成駒はと金だけかな」
助手「はい、そのとおりです。そして、持駒は４種類で７枚です」
博士「ふむ、なるほど・・わかったよ。手番が先手番でも後手番でも王手をかけると必ず１手詰

になるね。王手種類は112通りだね。よくやったな。おめでとう」
助手「ありがとうございます」
さて、王手種類112通りの1手詰とはどのような駒配置でしょうか？ 二人の会話を元に推理してください。
【図２】



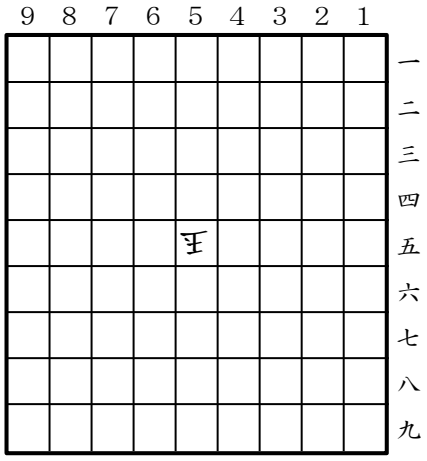
先手持駒
後手持駒 （先後合わせて４種７枚）

【出題条件】
以下の全ての条件を満たすような、盤面(駒配置)と持駒(先後とも)を推理してください。
(1) 手番が先手番の場合、王手をかけると必ず１手詰
(2) 手番が後手番の場合、王手をかけると必ず１手詰
(3) 王手の種類は、上記1)と2)を合わせて112通り
(4) 持駒は、駒の種類が4種類で先後合わせて7枚
(5) 盤上の駒のうち5枚のみ明示(先手の15と,16と,62と,93と,後手の31香)
(6) 成駒は、'と金'だけ
※持駒7枚と盤上明示の5枚以外の残りの28枚は盤面に配置すること。

第３問『王手が２００種』

博士「今度は駒数を制限しないで王手の種類の多い1手詰を考えてみよう。何通りできるか予想してごらん」
助手「150通りぐらいですか？」
博士「いや、もっと多いよ。ちょっと考えてみなさい」
助手「はい。がんばります。博士」
３０分後・・・
助手「博士、できました。ちょうど200通りです」
博士「ほんとか。小駒は何枚使ったの？」
助手「盤上にはゼロです。先手持駒は飛角金銀桂香の六種で後手持駒はなしですね」
博士「じゃあ成駒は何枚使ったの？」
助手「成駒は、龍１３枚と馬１０枚の合わせて２３枚です」
助手が並べはじめ盤面に、玉をおいたところ【図３】で・・・
博士「なるほど、王手をかけると必ず１手詰になるね。王手の種類はちょうど200通りだね」
（第４問に続く）

【図３】

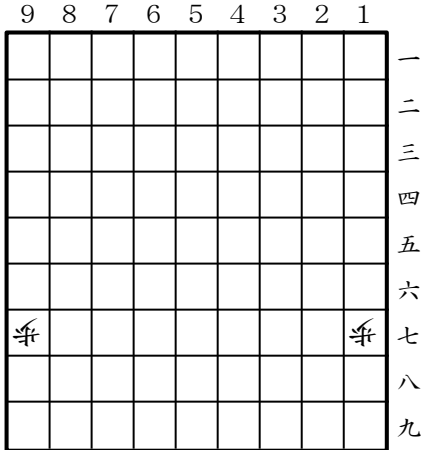


先手持駒　飛角金銀桂香
後手持駒　なし

【出題条件の整理】
以下の全ての条件を満たすような、局面を推理してください。
(1) 後手玉(単玉)に対し、先手が王手をかけると必ず１手詰になる
(2) 王手の種類は200通り
(3) 盤上の大駒の使用枚数は無制限。小駒なし
(4) 成駒は龍13枚と馬10枚の計２３枚
(5) 先手持駒：飛角金銀桂香、後手持駒：なし

第４問『王手が２００越え』

博士「王手種類が200通りとはよくやったけど成駒がちょっと多いね。小駒を増やして成駒を減らせないかな」
後日・・・
助手「博士、できました。小駒は盤上に金銀桂香歩各２枚使用で合計１０枚。成駒は龍１種類だけで８枚です」
博士「ほんとか。それはすごい。ちょっとそれを将棋盤に並べてくれないか」
助手「それでは。・・・っと」
助手が並べはじめ盤面に、歩を２枚おいたところ【図４】で・・・
博士「なるほど、わかったよ。王手をかけると必ず１手詰になるね。おっと、王手種類も増えたようだね」
助手「はい、206通りです」
博士「よくやったな。王手種類最大の1手詰の完成だ。おめでとう」
助手「ありがとうございます」
さて、王手種類206通りの1手詰とはどのような駒配置でしょうか？ 二人の会話を元に推理してください。
【図４】



先手持駒　飛角金銀桂香
後手持駒　なし

【出題条件の整理】
以下の全ての条件を満たすような、局面を推理してください。
(1) 後手玉(単玉)に対し、先手が王手をかけると必ず１手詰になる
(2) 王手の種類は206通り
(3) 盤上の大駒の使用枚数は無制限
(4) 成駒は龍のみで８枚
(5) 盤上の金銀桂香歩は各２枚(17と97に後手歩あり)
(6) 先手持駒：飛角金銀桂香、後手持駒：なし

解答お待ちしております。一問のみの解答も歓迎します。また、条件外での超正解（通常４０枚使用の王手種類113通り以上、駒数無制限での王手種類207通り以上）も歓迎します。
解答は下記まで
締切：平成26年２月15日（土）
ichi.suizo@gmail.com
一乗谷酔象

2014 年賀詰作品展

毎年恒例の年賀詰作品展でしたが難問もあり初解答の時風瑞季氏を含めて６名という解答者数でした。４番を除いてすべて「１」でしたがいかがでしたか？。解いていない方も是非盤に並べて正月気分？を味わってみてはいかがでしょうか。残念なことに余詰が１作。ミニベロさんには来年またリベンジをお願いしておきます。

〔年賀詰作品展解答成績〕（敬称略）

○：正解　－：無解　×：誤解

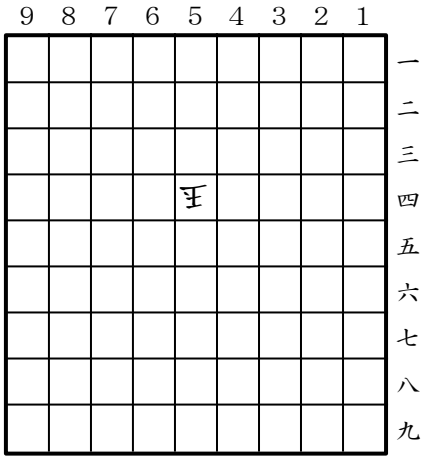
解答者名	1	2a	2b	3	4	計
橋本孝治	○	○	○	○	○	5
橘圭伍	－	○	－	○	○	3
変寝夢	○	－	－	○	－	2
時風瑞季	○	×	－	○	－	2
一乗谷酔象	－	－	－	○	○	2
平井 康雄	－	－	－	○	－	1

*4 番は余詰の為、解を書かれた方は正解としました。

第１番　変寝夢作

ネコネコ鮮協力ステイルメイト　５手

後手持駒：銀２



持駒　G2

【ネコネコ鮮】

敵味方を問わず、駒が縦に繋がっているとき、上から n 番目の駒は下から n 番目の駒の性能になる。

（補足）

・並ぶ駒の枚数が奇数枚のとき中央の駒は本来の利きになる

・行き所のない駒の概念はなし

【グラスホッパー】（G）

フェアリーチェスの駒。クイーンの線上で、ある駒を１つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。

（補足）

・飛び越える駒は敵味方どちらでもよい。

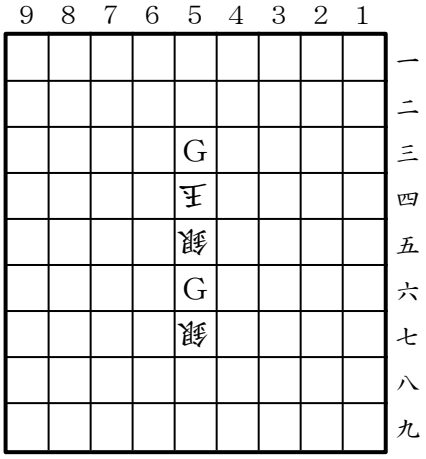
・パオと違って飛び越さないと動けない。動ける場所も飛び越えた駒の隣だけ。

・成ることはできない。特に記述しない限り受方の持駒にＧはない。

・２つ以上の駒は飛び越せない。

53G　55 銀　59G 打　57 銀　56G　迄　5 手

最終図



持駒　なし

最終図の説明をすると、後手 54 玉はＧの利きなので行ける場所は 52 のみですが 52 玉のとき 53Ｇが玉の利きとなりますのでいけません。55 銀はいろいろと動けそうですが動いた瞬間 53Ｇが玉の利きになりますので玉が取られてしまいアウト。57 銀はＧの利きで動ける場所がありません。というわけで後手の指す手はありませんのでステイルメイトとなります。

橘圭伍

ルールが旧来のもので良いかどうか不明なので無解とさせて頂きます。

★　対応の不備お詫びします。

橋本孝治

変身防止の３手目の遠打が面白い作品。WFP 作品展ではルール誤記でご迷惑をお掛けしましたが、「１」の炙り出しなので、年賀詰という内容にふさわしい発表場所を得たのは幸いでした。

時風瑞季

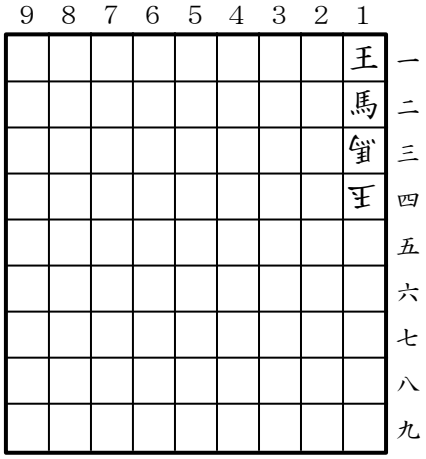
作品そのものより、G をルールに則って動かせるようになることが難しかった。

★　裸玉から１の字とは新年を飾るに相応しい

第２番　神無七郎作

a)

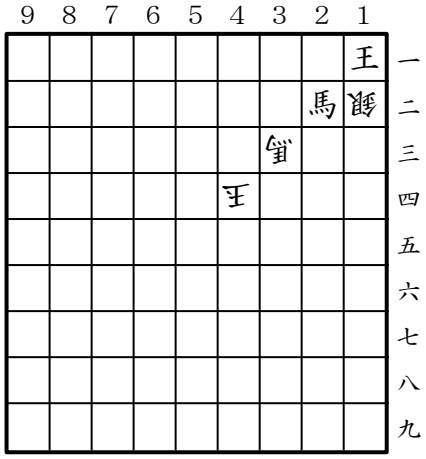
PWC 協力自玉ステイルメイト 12 手



持駒 なし

23 馬 25 玉 14 馬 34 玉 24 馬 同馬/13 馬 12 馬 23 銀 同馬/12 銀 44 玉 22 馬 33 馬 まで 12 手

最終図



持駒 なし

橋圭伍

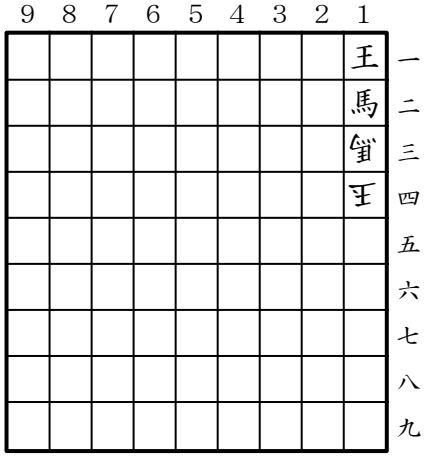
とりあえず解けたので解答。こちらは馬で馬をピンする形に決め打ちすれば比較的易しい。

変寝夢

例題すら無理です。せめて最終形を・・・。

b)

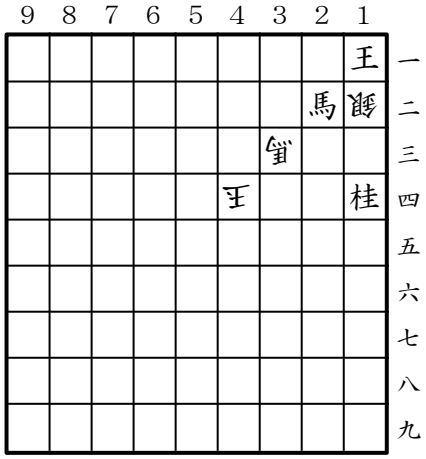
PWC 協力自玉ステイルメイト 18 手



持駒 桂

23 馬 25 玉 14 馬 35 玉 13 馬/14 馬 34 玉 35 馬 23 玉 15 桂 同馬/14 桂 13 馬 34 玉 12 馬 23 銀 同馬/12 銀 44 玉 22 馬 33 馬 まで 18 手

最終図



持駒 なし

【作者コメント】

WFP の年賀詰作品展への投稿です。　a)と b)、２つの図を投稿しますが、a)は b)のヒントという位置づけで、本命は b)の方です。

a)と b)の違いは持駒の桂の有無だけ。だけどPWC ルールで持駒１枚を消すのは大変なことですのでその差は大きいのです。もしあなたが a)が解けたとすると a)の最終図に 14 桂を置けばステイルメイトですので b)へのおおきなヒントとなったことでしょう。しかしながら解答者の中で a)の正解に辿り着けたのは橘氏一人。その橘氏も b)の正解に辿り着けませんでした。詰上り 14 桂に気付けば辿り着けたと思いますので違う筋を追われたのかもしれません。

a)と b)は 4 手目より分岐し 6 手迂回。その間に 14 桂型を構築します。a)をヒントに b)という絶妙のセットで、なかなかお目にかかれない位の間柄だったと思います。a)は正解者１名、b）は正解者０と作者には残念な結果となってしましたが初形１の秀作と言えると思います。

橘圭伍

ヒントになっている、という事で詰上りが全く同じという思い込みから 14 桂で桂が動けなくなるという基本的な事に一切気付けませんでした……言われてみれば、確かに 14 桂足してもステイルメイトです。

★　消すのは難しそうです。

第３番　たくぼん作

強欲協力詰　７７手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
角				歩		銀			一
	馬			龍	と	歩			二
				王	と		桂		三
馬	と						銀	と	四
香	と			桂			香	と	五
歩	歩	玉				歩		と	六
歩	桂			歩				銀	七
	香	歩		桂	馬		歩	歩	八
歩		と	歩		玉	香		飛	九

持駒 なし

86 と 同玉 95 桂 同玉 94 と 同玉
95 香 同玉 96 歩 同玉 97 歩 同玉
98 歩 同玉 89 と 同金 99 歩 88 玉
82 龍 99 玉 89 龍 同玉 99 金 78 玉
89 金 69 玉 59 馬 同全 79 金 58 玉
69 金 57 玉 58 歩 同全 同金 同玉
49 銀 同玉 36 香 19 金 39 金 同玉
28 銀 同玉 63 桂生 18 玉 19 角成 同玉
18 金 同玉 17 と 同玉 16 と 同玉
15 と 26 玉 16 と 36 玉 26 と 同玉
35 銀 25 玉 34 銀 同玉 33 と 同玉
43 と 23 玉 33 と 同玉 42 銀生 32 玉
41 銀生 同玉 51 桂成 同玉 52 金 まで 77 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				玉					一
				金					二
				王					三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【作者コメント】
難しいところは無いはず。すらすら解いてくださいませ。

★　流れるように詰む強欲強力詰です。ｆｍの解析数 714 と短編並みの易しさだと思います。ちょっと悩むとすれば 19 手目 82 龍に対して 78 歩、99 歩どちらを取るか（追いたい方向の駒は後と覚えているといいでしょう）。次に 45 手目 63 桂生ですが、51 にお年玉が落ちていれば当然生ですよね。これは創り方を間違えました(笑)あとは手なりに進めば詰むと思います。解答者全員正解。これは１つの勲章です。

橋本孝治

煙詰で曲詰「１」。コメント通り素直な手順を追っていけば自然に駒が消えました。双玉煙の理論上の最短（75 手）に近い手数も、紛れの少ないことの証明になるでしょう。今回の作品展で最も年賀詰らしい作品でした。

時風瑞季

17 手目 99 歩～82 龍を見つけるのに少考。

変寝夢

６５手目で４４ととして一苦労。角の最大移

動、終盤同じような送り方の繰り返し等テクニカルなイメージ。詰め上がりの頭金はお年玉？

一乗谷酔象

収束 24 銀と 31 銀の捌き方で迷いましたが、それ以外は相変わらず流れるようなわかりやすい手順でした。

平井康雄

開王手の際の駒取り義務はうっかりしてしまいますね。年賀詰らしくスッキリ詰んで気持ちいいです。

橘圭伍

最後に 42 銀とするのが見えなかったのは内緒です。それ以外はすらすら解けました。

第４番　ミニベロ作

２０１４年 馬年　年賀推理　　14 手詰

・最終 14 手目は、端へ「馬」の着手で「単騎詰」
・先手の着手は初手に５筋、次に４筋、次に３筋
・成る手は２回で不成り無し

58 玉 34 歩 48 飛 77 角成 36 歩 55 馬
56 歩 19 馬 11 角成 54 香 55 歩 同馬
68 香 11 馬 まで 14 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	馬	一
	飛								二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
				香		歩			四
									五
						歩			六
歩	歩		歩		歩		歩	歩	七
			香	王	飛				八
香	桂	銀	金		金	銀	桂		九

持駒 なし

作者

心配なのは余詰だけですが、一応危険な筋はおさえてあります。

★　その心配が現実のものになってしまいました。作者から以下のコメントが届いております。

作者

新年早々余詰を出して申し訳ありません。
充分検討したつもりだったのですが、橘さんの豪腕には参りました。ありがとうございました。
一応狙いとしては、
・最終着手駒と、単騎で仕留めている駒が別の単騎詰だったのですが、余詰では話になりません。
・「端への着手」を「隅への着手」として修正とお詫びに変えたいと思います。

橘氏の解

58 玉 34 歩 48 銀 77 角成 38 飛 88 馬
同銀 77 角 59 金右 95 角成 68 角 ○
66 歩 94 馬　まで 14 手

橘圭伍

余詰ですかね。14 手となると手順を条件からある程度絞れないとほぼ確実に潰れるというのが自説ですが……

橋本孝治

双玉なので「単騎詰」は不可能…では不正解扱いになると思うので、「単騎詰」を「実質的単騎詰」（王手駒以外の味方駒を全部駒箱に入れても詰み）と解釈して解答します。

★　ちょっと説明不足でした。申し訳ありません。コメント中の「実質的単騎詰」が作者の意図する単騎詰の意味です。

橋本孝治

最初は最終手 19 馬の詰上りを考えましたが「成る手は２回」の条件が良く働いていて詰みません。後手の角が一旦 77 に寄り道するのが面白い手順だと思います。年賀詰で 11 馬、あるいは条件が『馬の着手』であって『馬の王手』でないことからヤマを張れば早く解けたのかもしれません。

一乗谷酔象

いろんなな筋が見えますが、作意は解りませんでした。
下記解答手順は単騎詰でないのかもしれま

せん。ただ、いずれにしても後手駒は多数あるので、(厳密な意味で攻め方)後手駒１枚の単騎詰は不可能なのではないでしょうか。

58 飛 34 歩 48 玉 55 角 36 歩 19 角成
76 歩 29 馬 11 角成 56 桂 37 玉 24 香
38 銀 19 馬 まで 14 手。

58 飛 34 歩 48 玉 44 角 36 歩 17 角成
38 銀 28 馬 13 香成 29 馬 37 玉 14 桂
48 金(飛) 19 馬 まで 14 手。

56 歩 34 歩 48 玉 77 角成 36 歩 55 馬
38 銀 28馬 22角成 29馬 37玉 24飛(25飛、14 桂も可) 48 金 19 馬 まで 14 手。

★　ご提示の手順は作者の意図する単騎詰と異なるとは思いますが、これは出題側の説明不足が原因ですね。普通詰将棋で使う単騎詰とは異なることを示すべきでした。すいませんでした。

★　作意順は「端への着手」だと思いも付かない展開だと思います。解く自信は全くありません。「隅への着手」となると 11 か 19 か 99 かになりますので思いつく可能盛大。余詰は作者にとって誠に残念な所だと思います。

【総評】

橘圭伍

時間が取れるのが確定している間に解けたものだけ送っておきます。これからは脳内で解くのがメインになるかもですが解ければ送ります。

★　いろいろ不備もありますが、よろしくお願いします。

橋本孝治

今年の年賀詰は「１」特集でしたね。フェアリーだと初形や詰上りを「１」に限定してもルールや条件を変えていろいろな作品を作れるので、来年以降も「１」はたくさん出てくると思います。

★　「午」は創りにくかったですね。取り組みやすいのが「１」なんでしょうね。

時風瑞季

初回答ですが宜しくお願いします。強欲な世界第 3 番は 81 手解までしか求められませんでした。

★　初解答ありがとうございました。また解答ください。

変寝夢

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。今年も未踏の地を開拓できればいいと思います。

★　変寝夢さんの未踏の地作品は本当に解くのが大変です。お手柔らかにお願いしますね。

強　欲　な　世　界　解答発表

担当：たくぼん

強欲協力詰の煙と準煙詰を一挙６作放出しました。解答期間が短くやや厳しかったかと思いましたが６名の方から解答・短評を頂きました。ありがとうございました。全題正解者は４名。平井さんは解図途中の手順を送っていただき解答者の考え方の参考になりました。変寝夢さんも感想を頂き感謝です。

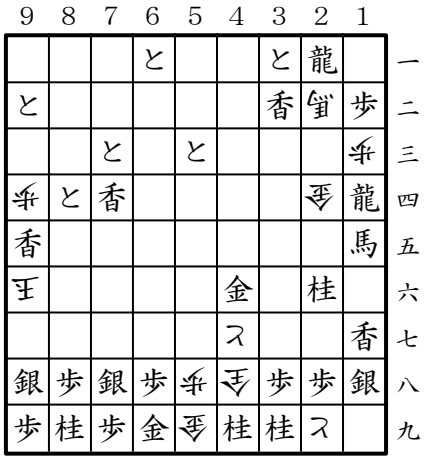
〔解答成績〕（敬称略）

○：正解　－：無解　×：誤解

解答者名	1	2	3	4	5	6	計
橋本孝治	○	○	○	○	○	○	6
橘圭伍	○	○	○	○	○	○	6
一乗谷酔象	○	○	○	○	○	○	6
隅の老人 B	○	○	○	○	○	○	6
平井康雄	－	○	○	－	－	－	2
変寝夢	－	－	－	－	－	－	0

【強欲】駒を取る手を優先して着手を選ぶ。

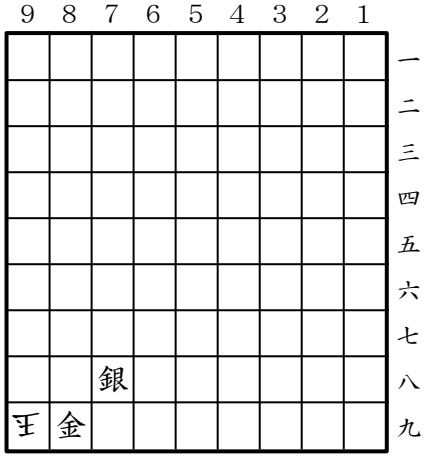
第１番　強欲協力詰　73 手



持駒 なし

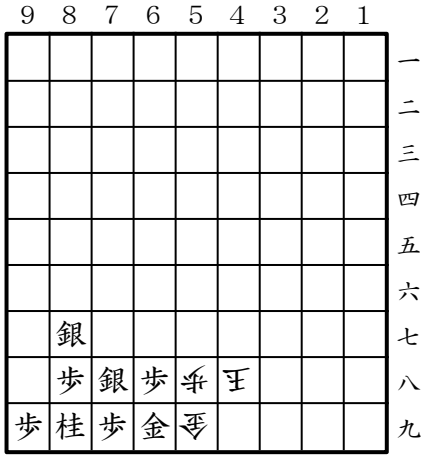
87 銀左 95 玉 94 と 同玉 93 と 同玉
83 と 同玉 73 香成 同玉 63 と 同玉
13 龍 同馬 23 龍 同金 62 と 同玉
51 馬 同玉 41 と 同玉 42 歩 同玉
34 桂 32 玉 22 桂成 同玉 13 香成 同金
31 角 12 玉 13 角成 同玉 14 歩 同玉
25 金 同玉 37 桂 同と 36 金 同玉
37 歩 同玉 38 歩 28 玉 29 銀 39 玉
28 銀 38 玉 39 歩 同全 同銀 同玉
48 銀 同玉 58 金 同玉 69 銀 同玉
78 銀 68 玉 69 歩 同金 同銀 79 玉
68 銀 88 玉 79 銀 89 玉 78 銀 99 玉
89 金 まで 73 手
解析数：3934

詰上図



持駒 なし

56 手目の局面



持駒 なし

初手は 87 銀右、87 銀左、97 銀の３拓。本作の狙いはここにある。果たしてどの手が正解か？その答えは 56 手目の局面（上図）まで行かないと分からない。

初手 87 銀右だとこの局面から 58 金、同玉で王手が掛からなくアウト。59 金、同玉、49 金、68 玉と追う手もあるが、以下 58 金、79 玉で王手が掛けられなくなる）

初手 97 銀も 69 銀、同玉の後の 78 銀が出来ないため行き詰る。

道中はさして紛れる箇所はないが 57 手目金ではなく歩を取る所がちょっとしたポイントで初手の味を少しだけ良くしていると思っている。

橋本孝治

最短手数煙なので易しいはずですが、結構あちこちで手が止まりました。単に銀を捨てる59手目69銀が初手とも絡んで特に見えづらかったです。

橋圭伍

1番だけあって紛れも少なくすらすら行く。途切れないように進めて行けば解けるが初手をどの形にするかを最後で弄らないと行けないのが大変でした。作意は一番効率が良さそうなのですが強欲なので利きを弱める右も有力と思ってました。

一乗谷酔象

初手が３通り。収束まで読まないと選択できないもどかしさ。

変寝夢

５７手目５九金にはまり撃沈。右上の馬の利きを通すまでの折衝が、面白い。

隅の老人B

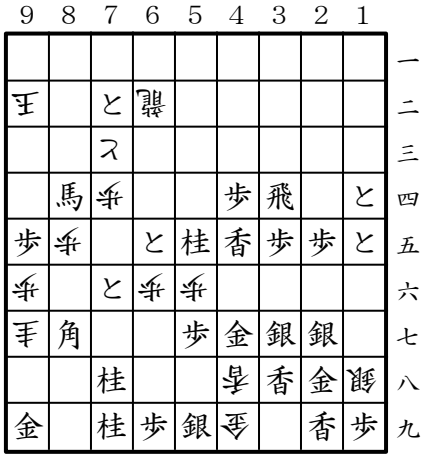
解いて楽しい、解けて嬉しいのが煙詰。流れるような手順と言いたいが、13手～15手目辺りで大苦労。中盤、収束は楽しい流れで右辺から左辺へ。ようやく解けたぞ。さて、第2番は？、です。

平井康雄

初手が３択で、どれが正解かわからず。いずれにしても57手目59金辺りまでは正解っぽいんですが、残り銀と歩だけでは詰型が作れません。

★　平井さんは56手目の局面から欲に目が眩んで（笑）金を取ってしまいましたね。正解は歩の方を取る手で初手と連動して手が繋がるという仕組みでした。

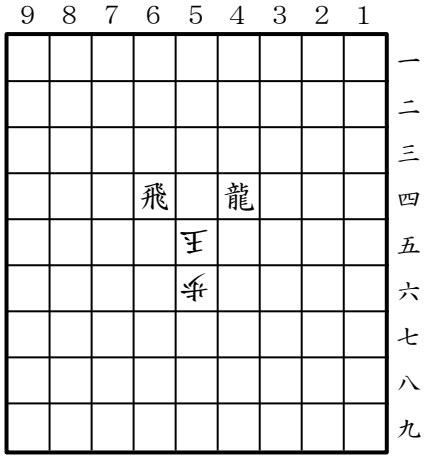
第２番　強欲協力詰　75手



持駒 なし

74馬 同と 82と 同玉 83歩 同玉
74と 同玉 66桂 同龍 85と 同玉
96角 同圭 86歩 95玉 87桂 同圭
96歩 同玉 97歩 同玉 98歩 同圭
同金 86玉 78桂 77玉 87金 78玉
77金 69玉 58銀 同玉 48金 同金
59香 同玉 48銀 同玉 47金 同玉
37金 57玉 47金 同玉 36銀 38玉
27銀 29玉 18銀 19玉 28銀 同玉
17銀 同玉 16と 同玉 15と 同玉
14飛 25玉 24飛 35玉 34飛 45玉
35飛 44玉 33飛成 55玉 66金 同玉
64飛 55玉 44龍 まで 75手
解析数：29764

詰上図



持駒 なし

狙いは言うまでも無く詰上り。33飛成以下の順で限定順を見つけられたのでそこから逆算した。66桂の一手が入ったので何とか作品になったと思う。この辺りの折衝が創作時間の９０％位はかかっている。9手目が85と、66桂の分岐となったのが嬉しい結果。これだから創作が止められない。

橋本孝治

詰上りＹの都煙ですね。この急転直下の収束は意表を突かれました。この詰上りは根性を出せば普通詰将棋でも可能かもしれません。手順で難しいのは23手目98歩からの数手。金の使い方に味がありますね。

★　ここをご覧の普通詰将棋作家の皆さん是非根性を出して創ってみてください。そしてこ

の作品が創作のきっかけですと是非コメントを・・・(笑)

橘圭伍

最初に 66 桂と稼ぐのに気付かずに意外に苦戦しました。詰みそうではあるが駒が消えそうに見えない一瞬の感じが良いですね。

一乗谷酔象

相手の龍を取る工夫とトドメの龍を残す工夫。最も短い手数で詰む都の詰上がり形には意表を突かれました。

変寝夢

９手目６６桂が見えず、早々沈没。こういう手が見えないのは自分らしい。

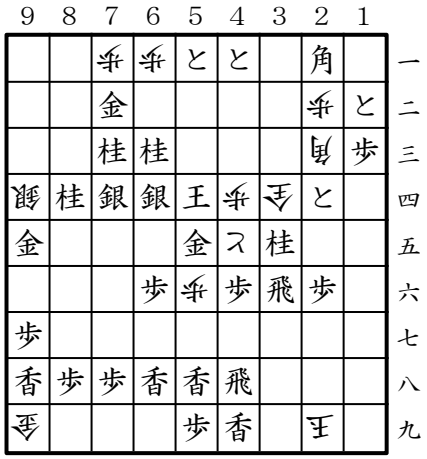
隅の老人 B

中盤、取り残された金に一抹の不安あり。詰上げて都詰、なるほど。「たくちゃん、やるねぇ」、各処に妙手をこきまぜて都ぞ春の錦なりける、かな。

平井康雄

９手目 85 との一手に見えるので 66 桂は難手です。最後はどうやっても詰むのですが、75 手で詰むのはこれしかないですね。結構悩みました。

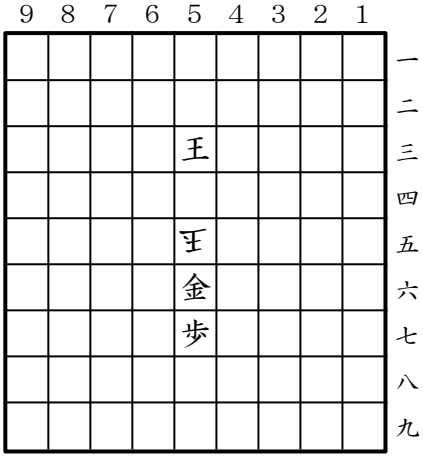
第３番　強欲協力詰　79 手



持駒 なし

39 飛 同玉 38 飛 49 玉 48 飛 59 玉
49 飛 68 玉 69 飛 78 玉 79 飛 88 玉
89 飛 98 玉 99 飛 同玉 98 金 同玉
53 玉 97 玉 96 金 同玉 85 銀 同玉
76 角成 84 玉 94 馬 同玉 83 銀 同玉
82 金 同玉 81 桂成 同玉 71 桂成 同玉
61 と 同玉 51 と 同玉 43 桂生 41 玉
31 桂成 同玉 22 と 同玉 23 と 同玉
12 角 13 玉 14 歩 同玉 15 歩 同玉
16 歩 同玉 34 角生 26 玉 35 銀 同玉
45 金 同歩 36 歩 同玉 45 角 46 玉
55 銀 同玉 56 香 66 玉 67 歩 同玉
55 香 56 金 同角 同玉 57 歩 55 玉
56 金 まで 79 手
解析数：121844

詰上図



持駒 なし

★　詰上りは愛の国愛媛の「ｉ」です。橋本さんお見事！（都ではないけど）煙創作のきっかけはほとんどが納得できる収束手順を見つけることができるかという事。この 55 香以下の順を見つけていけると確信した素材。34 角生が入ったのはこれまでの経験が生きていました。あとは何とか先手王を動かすことと序の考え所を入れることを目標で逆算して、ほぼ理想的に出来たと思っています。58 香を惰性で消去してもらえれば作者も本望です。

橋本孝治

命名するなら「愛（ｉ）の都」でしょうか。序で 58 香を残す伏線が収束の香の短い移動に結びつく手順構成はお見事。57 手目も成か不成か結構迷います。ここからだんだん難しくなる気配が漂ってきました。

橘圭伍

紛れとしては 58 香を残すか残さないか位ではあるが消して行きたくなるのでたちが悪いですね。強欲だと利きが強くなると困る事が多いので生の方が自然なので成限定の方がむしろ駒数が多い場合は作りにくそうですね。

一乗谷酔象

34 角不成からの収束が素晴らしい。55 銀以下の 13 手短編としても十分で、55 香は強欲ルールならではの一手。

変寝夢

３４角生は発見したのに、序盤で５８香を消去してしまいました。でもいずれにせよこの収束は発見できなかったと思います。

隅の老人 B

34 角生や香の一目上がりで金合をさせる処等々、収束が特に面白い作品です。これは双玉。たくちゃん、いろいろとやりますね。

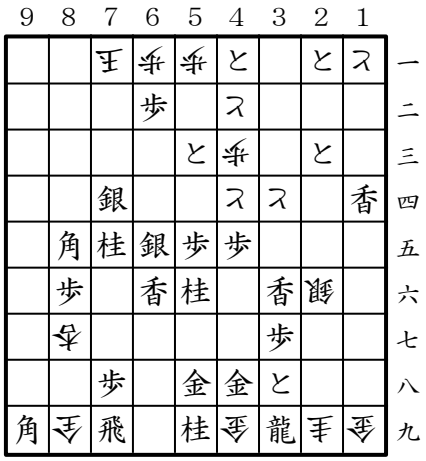
★　ここまで収束を褒められるとは私も予想外でした。逆にとればその他にインパクトがなかったのかな？

平井康雄

ルール上 19 手目の 53 玉が OK なのかどうか一瞬迷いました。「駒取りが全て禁じ手の場合は駒を取らなくても良い」というのを、明記して欲しいところです。34 角生がなかなか面白い手でした。収束もかなり悩みましたが、55 香もしゃれてますね。

★　ついつい皆さんお分かりのはずと勘違いして説明を省略してしまいがちになります。申し訳ありません。受方玉がヒモ付きの王手を取れないで逃げるのと同じと思っていただければよろしいかと。（もっとスマートな説明がありそうです）

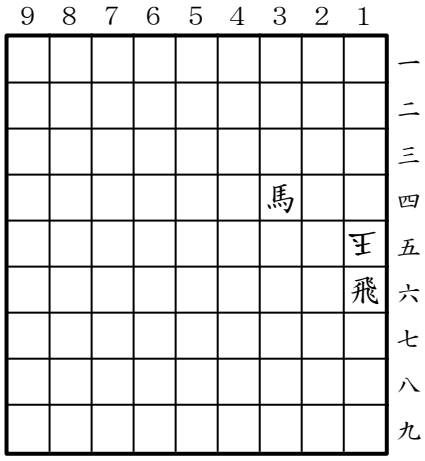
第４番　強欲協力詰　91 手



持駒 なし

61 歩成 同玉 51 と 同玉 42 と 同玉
32 と 同玉 44 桂 同歩 34 香 21 玉
11 香成 同玉 12 歩 同玉 13 歩 同玉
14 歩 同玉 15 歩 同玉 16 歩 同玉
27 と 同玉 29 龍 同金 39 桂 同金左
38 金 同金 28 歩 37 玉 48 金 28 玉
38 金 同玉 49 角 同玉 47 桂 79 全
48 金 同玉 59 金 47 玉 56 銀 同玉
65 銀 45 玉 54 銀 55 玉 64 香 同玉
65 銀 75 玉 76 銀 86 玉 87 銀 同玉
89 香 78 玉 69 金 89 玉 79 金 同玉
88 銀 68 玉 77 銀 57 玉 66 銀 46 玉
55 銀 35 玉 44 銀 34 玉 35 歩 同銀
同銀 同玉 26 銀 同玉 44 角 15 玉
33 角成 16 玉 43 馬 34 飛 同馬 15 玉
16 飛 まで 91 手
解析数：23796

詰上図



持駒 なし

★　この作品も収束 26 銀以下の手順を見つけてそこから逆算したもの。斜め追い２回の順になったのはたまたまです。今回の６作の中で創作時間が一番掛かったのが本作で、序の 16 手目辺りからの逆算でどれだけの図がゴミ箱に行ったことやら。59 桂をどっちに跳ねるかや 64 香の限定移動はよく頑張ったと思います。

橋本孝治

斜め追いでそのまま押し込むのかと思ったら、飛合の形に持ち込む意外な収束でした。右下で金を質駒にする手順や、桂の跳ね方、中央から下段へ戻す手順など、展開がよく練られていて、結構考えさせられる手順になっていると思います。

橘圭伍

1 筋上段での折衝が分からずにもの凄く苦戦しました。見付ければ自然な流れなのですが。銀追いからの自然な収束ですがそれでも最初綺麗に決まると嬉しいですね。

一乗谷酔象

凧銀が現れて驚きました。銀を精算した後、もう一度凧銀で収束かと思ったら、糸の切れた凧のような一手 26 銀でまたまた意表を突かれました。

★　強欲協力詰を創っているとときどき自分でも驚くような順で完全になっている収束形に出会うことがあります。本作もその１つ。これからもまだまだ探していきます。

変寝夢

２９手目３９桂が見えませんでした。斜め追い２回の趣向もですが、収束や途中の手の繋ぎ方がとてもシャープに見えました。

隅の老人 B

山路を登りながら考えた､｢だんだんと駒が消えてゆく、これで詰むのかな？｣。最後は角がただ 1 枚、これから詰むとは！、協力詰に不可能はなし？

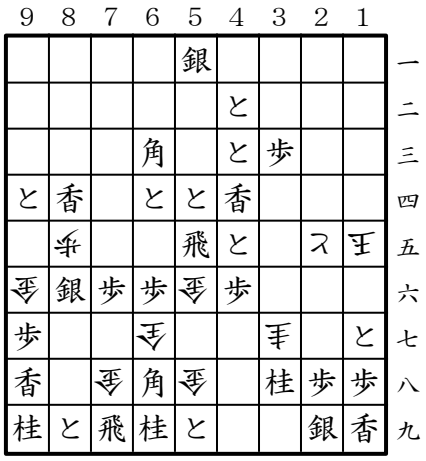
★　強欲条件が付いているからこそ出来る技です｡協力詰は本当に余詰との戦いが大変です。

平井康雄

そこそこ手は続いたんですが､お手上げです。

★　64 香の所を 63 香成としてしまってますね。わざと取らせる場所へ移動する手筋はときどき出ます。

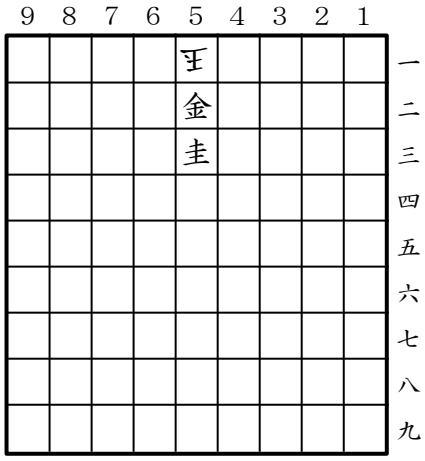
第５番　強欲協力詰　85 手



持駒 なし

16 と 同玉 17 歩 15 玉 16 歩 同と
同香 同玉 17 歩 同玉 18 銀 28 玉
17 銀 38 玉 48 と 同玉 59 角 同金
78 飛 同全 58 金 同玉 56 飛 69 玉
59 飛 同玉 69 金 同玉 79 金 同全
同と 同玉 88 銀 同玉 77 銀 99 玉
88 銀 98 玉 87 銀 97 玉 86 銀 同玉
85 角成 同玉 95 と 同金 86 歩 84 玉
85 歩 同金 74 と 同玉 75 歩 同金
64 と 同玉 65 歩 同金 54 と 同玉
53 と 44 玉 54 と 33 玉 43 と引 34 玉
44 と寄 35 玉 26 銀 46 玉 37 銀 同玉
49 桂 46 玉 45 と 同玉 57 桂 54 玉
53 と 同玉 65 桂 52 玉 53 桂成 51 玉
52 金 まで 85 手
解析数：24784

詰上図



持駒 なし

★　桂の３段跳びが狙いと思われるかもしれませんが（２名の解答者から指摘）これは偶然で、言われるまで気付いていませんでした。じゃあ何が狙い？実は 96 の金を 65 まで運んできて取るところが狙いなのです。強欲ではその場か１つ動いて駒交換で取られる場合がほとんどですので･･･。でその金を打った桂を跳ねて取る。いい感触と思ったのですが、そうでもなかったかな。

橋本孝治

打った桂の３段活用。詰上り「１」なので、元は年賀詰の候補だったのでしょうか。桂の活用に備えて「と金」の位置を整える 67 手目「44 と寄」が地味な好手。ここに来て急に

易しくなったように思いました。

★　収束含め年賀詰には難しすぎると判断しましたのでもう一つの「１」にバトンタッチ。

橘圭伍

途中で桂の４段跳ねかなと思ったらその通りでした。金歩送り？の所を最大限繰り返して煙にも出来そうな感じですがどうなんですかね？

★　なるほど早速考えてみることにしよう。

一乗谷酔象

急所に質駒を置いておく構想が印象的。37 成桂を取れる形にしておき、後に入手した桂で 65 に置いてきた移動金を取りにいくのが斬新な感じ。今回の作品展の中で最難問でした。

・41 手目 86 銀の後、同玉か同歩か。どちらも攻めが切れそうな感じ。

・87 手目 86 歩 84 玉 の直後 85 歩 同金と歩の手を 86,85 と連続で指すのが
盲点になった。

★　作者の意図を汲んで頂き感謝です。

変寝夢

４２手目同玉に気づかず。小駒のみになってからの繊細な手順は読みの力の賜物なのでしょう。

隅の老人 B

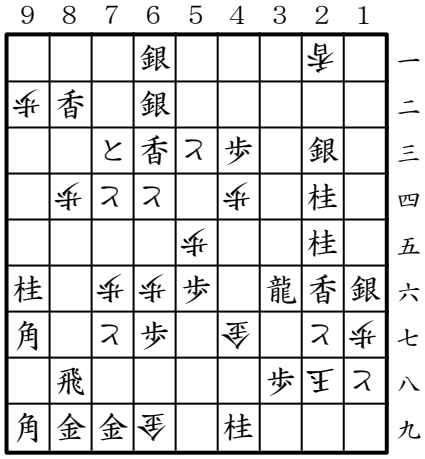
坦々と手順が流れて駒が消えてゆく。今度の趣向は何だろう？最後に桂を打って、これを跳ばせて、成る程、成る程。桂の 3 段跳び、これがやりたかったのですね。

平井康雄

これもある程度は続くんですけどねえ・・・

★　41 手目 86 銀を同歩ではなくて同玉が正解でした。角筋が通って金が取れるのでこうやりたい気持ちは分かります。金を取らずに歩を取る。この辺り不詰感が漂うと思いますが、この辺りの手順が実はお気に入り部分です。

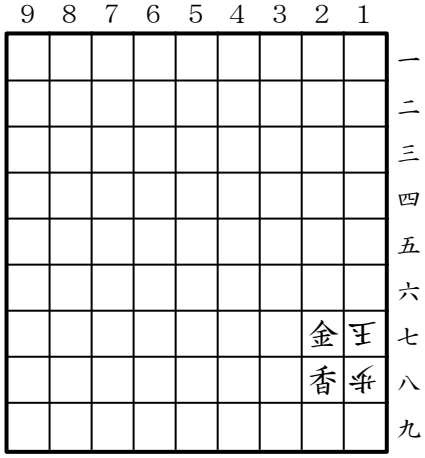
第６番　強欲協力詰　85 手



持駒 なし

27 龍 39 玉 28 龍 49 玉 48 飛 同金
19 龍 38 玉 18 龍 同歩生 27 銀 同玉
28 歩 26 玉 27 歩 25 玉 26 歩 24 玉
25 歩 同玉 34 銀生 同玉 35 歩 43 玉
53 銀成 同玉 64 角 同玉 74 と 同玉
75 歩 63 玉 72 銀生 同玉 84 桂 82 玉
92 桂成 同玉 93 歩 同玉 94 歩 同玉
95 歩 同玉 77 角 同歩生 96 歩 同玉
97 歩 同玉 88 金直 86 玉 77 金 75 玉
66 金 64 玉 55 金 53 玉 44 金 同玉
45 歩 同玉 46 歩 56 玉 57 歩 67 玉
68 歩 同金 同金 同玉 59 金 57 玉
48 金 46 玉 37 金 35 玉 26 金打 同香
同金 同玉 29 香 28 金 同香 17 玉
27 金 まで 85 手
解析数：94789

詰上図



持駒 なし

★　本作は準煙。本人は煙、準煙にあまり拘っ

ては無いんですが、分類する際にはそれも必要か。ポイントは 2 手目 39 玉と逃げる手。48 飛捨てや 19 龍のそっぽ行きで 38 歩消去と序でこれだけの手を入れられたのはこれまでの作品ではありません。次に 10 手目の歩生。これは収束まで行けば判明しますが、成ると 29 香を同とと取れますので不詰。次のポイントは 16 手目の局面。

16 手目の局面

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			銀				香		一
歩	香		銀						二
		と	香	ス	歩		銀		三
	歩	ス	ス		歩		桂		四
				歩			玉		五
桂		歩	歩	歩					六
角		ス	歩				歩		七
					金			歩	八
角	金	金	金						九

持駒 歩

ここから手段は３つ。

１． 34 銀生、同玉、35 歩、43 玉以下
２． 34 銀生、24 玉、33 銀生、同玉、34 歩、43 玉以下
３． 26 歩、24 玉、25 歩、同玉、34 銀生、同玉、35 歩、43 玉以下

１の順は同様に進めて 85 手では詰まず 87 手かかる。２の順も 91 手。何と 24 桂消去をする遠回りするような３の順が一番最短とは意表を付く順と思う。収束に関係して動かせない歩の配置が多いのでこの順を成立させるのは大変でした。その後も 77 歩生からの金の斜め追いで飽きさせない順でしょうか。
これまで 40 作以上創ってきましたが内容ではその中での上位に入ると思っています。

橋本孝治

２手目に 39 玉と迂回するようにして 38 歩を消す手順から、既に手拍子で指すことのできない雰囲気がありますが、その後の２・３筋を使った伏線には痺れました。17 手目はすぐに 34 銀生と行きたくなりますが、同玉では 24 桂が残ってダメ、24 玉では３筋の歩が 34 に残るのでダメ。他に手段がないように見えるところで 26 歩の妙手がありました。繰り返される攻方の銀不成、受方の歩不成も手順に華を添えています。本局のみ準煙（■）ですが、内容的には文句なし。この作品展のラストを飾るにふさわしい力作でした。

橘圭伍

最難関でした。序盤で歩を残す方が良さそうに見えて消した方が早いという事に気付くまでに時間が掛かりました。最初の 19 龍からの手順も意外に見えにくい。

一乗谷酔象

２通り駒が取れる形を作って、金と玉を階段のように上ったり降りたりする手順が面白い。

変寝夢

５手目４８飛が見えず２手目１９玉で決め打ってしまいました。斜め追い３回ですか。中央で行われているので余計鮮やかです。

隅の老人 B

最後の最後に「待った」をしました。この作品を解いて、遠い昔に読んだクリスティの「The Murder of Roger Ackroyd」を思い出しました。 最後の最後にそこに設けられた謎が解明する。これぞ、謎解きの楽しさの局地ですね。

平井康雄

これは序盤が抜けられず。完全にお手上げ。

★ 2 手目が 19 玉と読まれたようですね。39 玉に 28 龍以下の伏線を見破れば道は開けたと思います。

【総評】

橋本孝治

年賀詰の 77 手と合わせて一挙７局の「強欲煙」、とても楽しめました。 これだけの作品を一挙に放出するなんて、とても太っ腹ですね。 序盤から終盤まで見所満載の第６番が私の一番のお気に入りです。

★ あと在庫は１作です。たまには詰パラにでもと思っています。

橘圭伍

余り難易度が高くないが６題は大変でしたが比較的すらすら進めるので楽しめました。解答を今回から特定のフェアリーは kif ファイル方式に変更していますが旧来の手打ちに

比べてかなり時間短縮になりました。今月は実は氾濫が 12 月にあり、事実上半月しかないので年賀詰・作品展×2 と普段の作品展より大変な感じ

一乗谷酔象

ようやく、強欲ルールに慣れてきて、解けるようになりました。たくぼんさんの強欲協力詰では種々のテクニックがちりばめられ、川が流れるような手順や切れそうな細い糸を繋いでいく手順が楽しめます。

変寝夢

結局ボウズ。４番が好みです。小駒のみになってからの手の繋ぎ方が秀逸です。参りました。

隅の老人 B

お正月、5 日も過ぎて、遊びに来ていた孫連中もみんな帰って、また暇な日が始まる。何をしようかなで、「おもちゃ箱」の年賀詰を覗く。その 29 番に、たくぼんさんの「26」の強欲詰あり。これでも解いて暇を潰すか、です。解いてビックリ、煙詰。その勢いで、「強欲の世界」に挑戦しました。締め切り日は過ぎたが、20 日まではＯＫとのこと、よろしくお願いします。

遅い、遅い、「謹賀新年、今年もよろしく」

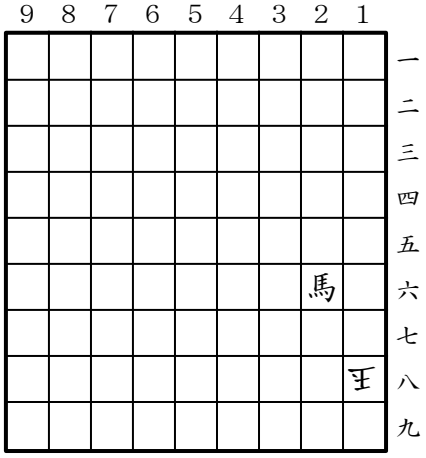
★今年も強欲協力詰をよろしくお願いします。

2014年　フェアリー年賀詰紹介

担当　たくぼん

今年お披露目されたフェアリーの年賀詰を紹介します。WFP 関連のものは除きます。
解答は非公表ですのでここでは載せません。ご了承下さい。

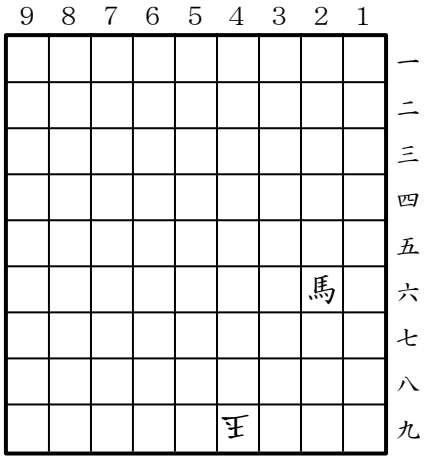
天津包子作　協力詰　5 手



持駒 香

★　ちょっとだけ悩みました（笑）。詰パラ・フェアリーランド１月号に姉妹作が載っています。

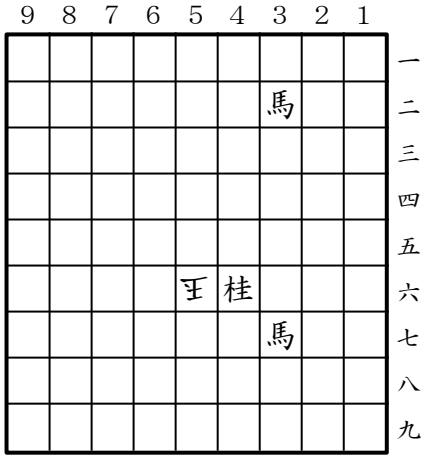
長谷繁蔵作　協力詰　5 手



持駒 なし

★　基本手筋です。

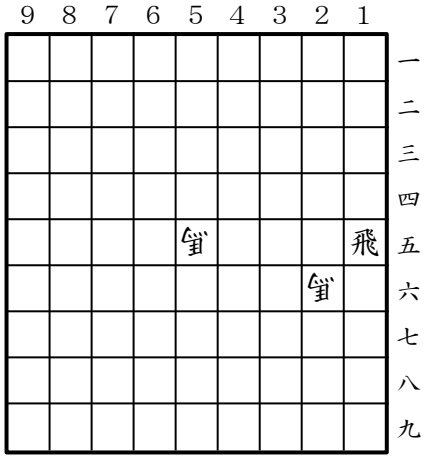
小林看空作　協力詰　5 手　2 解



持駒 なし

★　詰上りの対比が面白い。

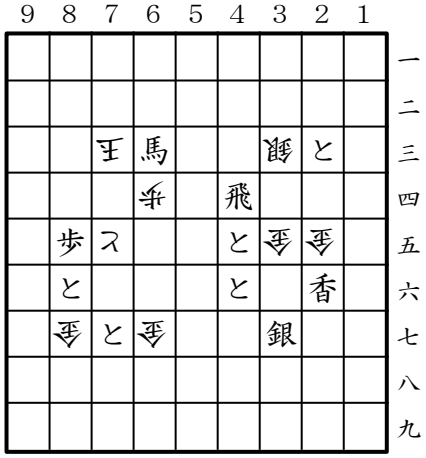
雲虚空作　26 馬を詰めるばか詰 7 手



持駒 なし

★　結構難しいです。

たくぼん作　強欲協力詰　34 手（受先）



持駒 歩

午年なので初手「馬」を取ってスタート
（解答は次ページ）

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

2月15日(土)

第57回WFP作品展　57-12（再出題）
推理将棋　１題
第58回WFP作品展
フェアリー作品　１１題

伝統ルールを改変する
伝統ルール、フェアリー作品３題

王手をかけると１手詰（解答期間延長）
推理将棋４題

Fairy of the Forest#38
協力詰３題

2月20日(木)

推理将棋第74回出題
推理将棋　６題

3月15日(土)

第59回WFP作品展
フェアリー作品　７題　推理将棋　２題

条件募集

新たな企画として、「記録に挑戦」コーナーを考えています。つきましてはそのチャレンジする条件を募集します。とりあえずは協力詰を希望しますが、他のルールでも構いません。

・ルール+条件　でご提示下さい。

無い頭で考えたのは
協力詰で、
１．　攻方連続不成回数（初手より）
２．　受方連続不成回数（２手目より）
３．　攻方受方連続不成回数（初手より）

*双玉可、通常駒、通常駒数、通常盤使用、初手は攻方とします。手順全てが不成でなくても可で、連続不成が切れてから何手かかって収束しても構いません。記録としては初手（２．は２手目）からの連続回数が対象となります。
出来たという人はメールにてお願いします。とりあえず１ヶ月（２月１５日）の締切とし反応なき場合はこの件はうやむやとなります（笑）

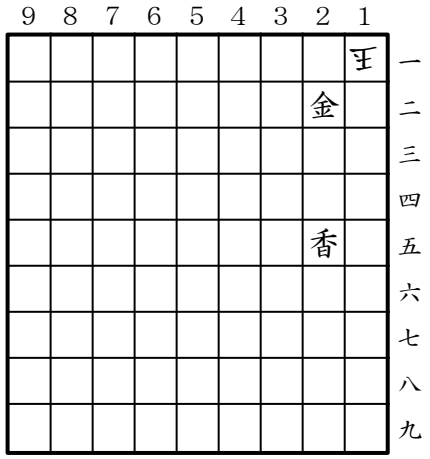
他の新たなチャレンジ意欲の沸く条件を是非考えてください。よろしくお願いします。

送り先：たくぼん　takuji@dokidoki.ne.jp

あとがき

たくぼんの年賀詰の解答（図はP33）
63玉 64飛 同玉 75と 同玉 76歩 85玉 86歩 同金 同と 同玉 87歩 同玉 78金 76玉 67金 同玉 57金 同玉 47と 同玉 36銀 同玉 35と 同玉 34金 同玉 33と 同玉 22銀 同玉 25香 11玉 22金 まで 34手

詰上図



持駒 なし　　たくぼん

2014年　第67号
Web Fairy Paradise

非売品
平成二十六年一月号
平成二十六年一月廿日発行

発行所　愛媛県新居浜市
発行兼編集人　須川卓二
発行所　Web Fairy Paradise 編集部
問合先 takuji@dokidoki.ne.jp